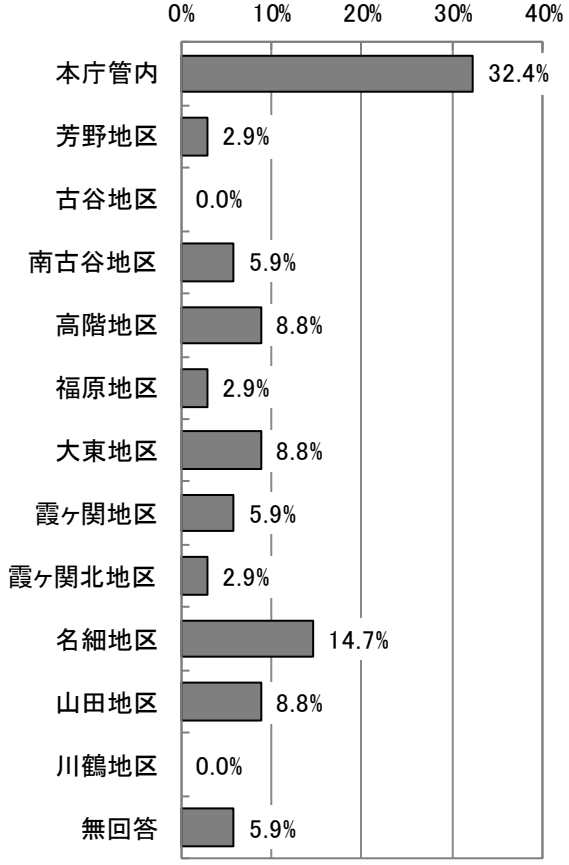
休日就労保護者調査

問１　居住地区

居住地区は、「本庁管内」が 32.4％と最も高く、次いで「名細地区」が 14.7％となっています。



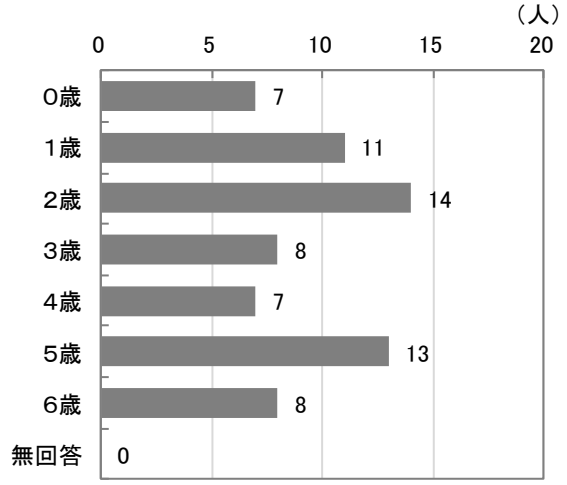
項目	度数	構成比
本庁管内	11	32.4%
芳野地区	1	2.9%
古谷地区	0	0.0%
南古谷地区	2	5.9%
高階地区	3	8.8%
福原地区	1	2.9%
大東地区	3	8.8%
霞ヶ関地区	2	5.9%
霞ヶ関北地区	1	2.9%
名細地区	5	14.7%
山田地区	3	8.8%
川鶴地区	0	0.0%
無回答	2	5.9%
回答者数	34	100.0%
非該当	21	
合計	55	

■市外の方の居住地

項目	度数	構成比
ふじみ野市	2	9.5%
狭山市	2	9.5%
さいたま市	1	4.8%
坂戸市	2	9.5%
志木市	1	4.8%
所沢市	1	4.8%
上尾市	1	4.8%
東松山市	1	4.8%
入間市	1	4.8%
富士見市	2	9.5%
三芳町	1	4.8%
鳩山町	1	4.8%
飯能市	1	4.8%
滑川町	1	4.8%
東京都	3	14.3%
無回答	0	0.0%
回答者数	21	100.0%
非該当	34	
合計	55	

問２　子どもの年齢（複数回答）

子どもの年齢は、「2 歳」が 14 人（20.6%）と最も多く、次いで「5 歳」が 13 人（19.1%）、「1 歳」が 11 人（16.2%）となっています。



項目	度数	構成比※
0歳	7	10.3%
1歳	11	16.2%
2歳	14	20.6%
3歳	8	11.8%
4歳	7	10.3%
5歳	13	19.1%
6歳	8	11.8%
無回答	0	0.0%
回答者数	55	
全回答数	68	100.0%

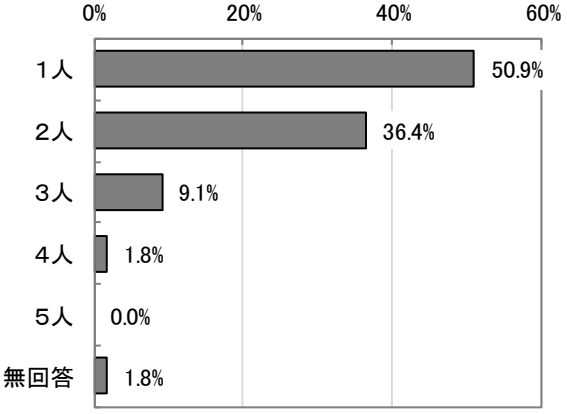
※構成比は全回答数における構成比

問３　子どもの数と末子の年齢

１世帯当たりの子どもの人数は、「１人」が 50.9%と最も多く、次いで「２人」が 36.4%となっています。

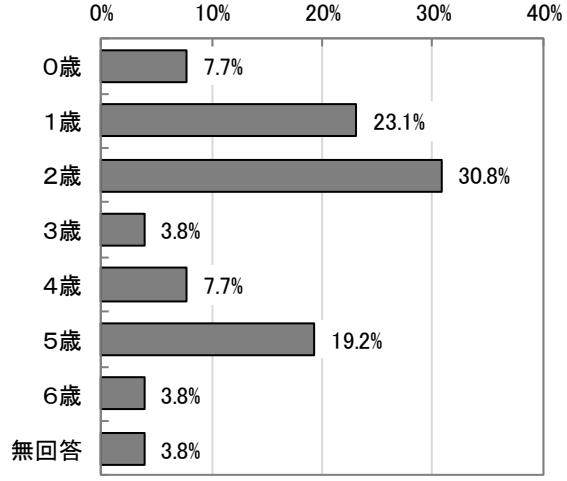
また、２人以上の子どもがいる世帯の末子の年齢は、「2 歳」が 30.8%と最も多く、次いで「1 歳」が 23.1%となっています。

■１世帯当たりの子どもの人数



項目	度数	構成比
1人	28	50.9%
2人	20	36.4%
3人	5	9.1%
4人	1	1.8%
5人	0	0.0%
無回答	1	1.8%
回答者数	55	100.0%

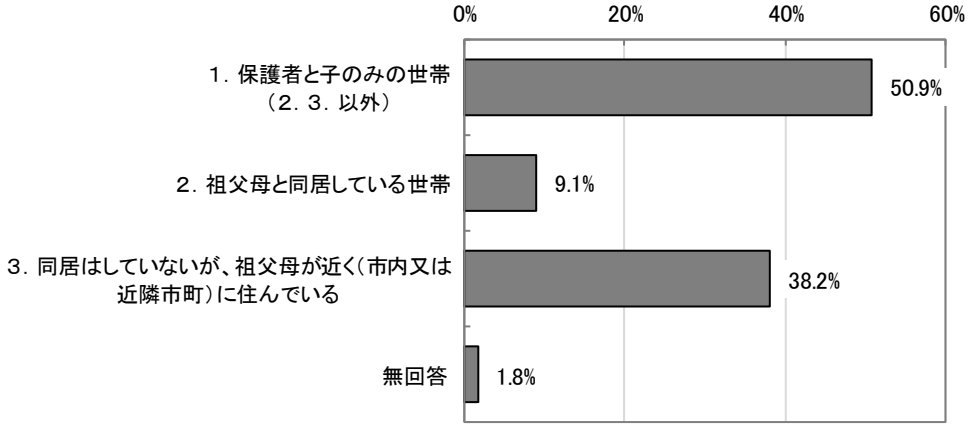
■末子の年齢



項目	度数	構成比
0歳	2	7.7%
1歳	6	23.1%
2歳	8	30.8%
3歳	1	3.8%
4歳	2	7.7%
5歳	5	19.2%
6歳	1	3.8%
無回答	1	3.8%
回答者数	26	100.0%
非該当	29	
合計	55	

問４　世帯状況

「保護者と子のみの世帯（２．３．以外）」が 50.9%と最も多く、次いで「同居はしていないが、祖父母が近く（市内又は近隣市町）に住んでいる」が 38.2%、「祖父母と同居している世帯」が 9.1%となっています。



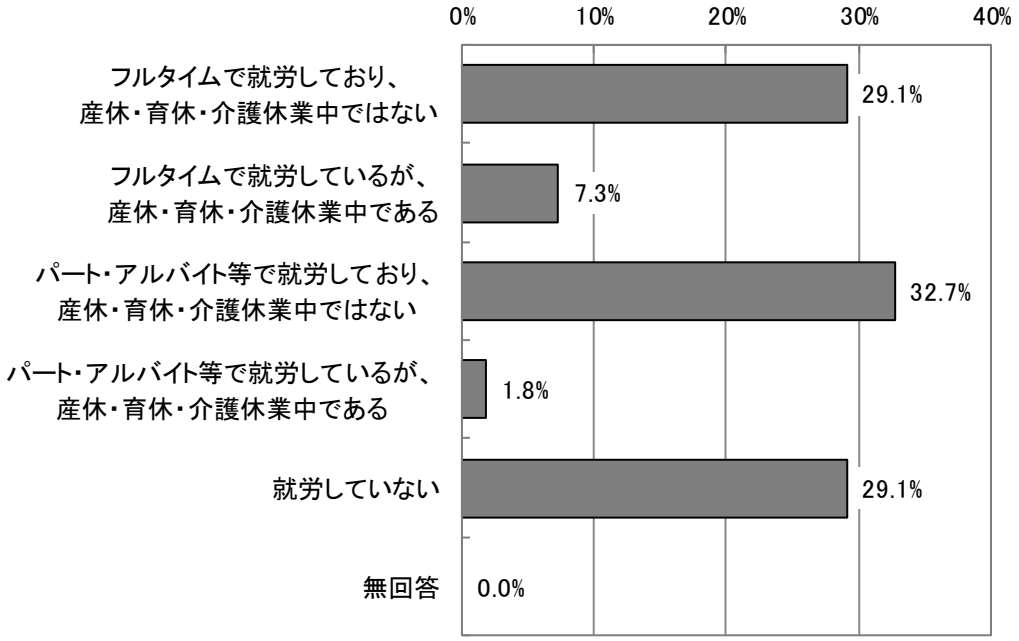
項目	度数	構成比
保護者と子のみの世帯（2．3．以外）	28	50.9%
祖父母と同居している世帯	5	9.1%
同居はしていないが、祖父母が近く（市内又は近隣市町）に住んでいる	21	38.2%
無回答	1	1.8%
回答者数	55	100.0%

問５　就労状況

■母親

母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 32.7%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「就労していない」がともに 29.1%となっています。

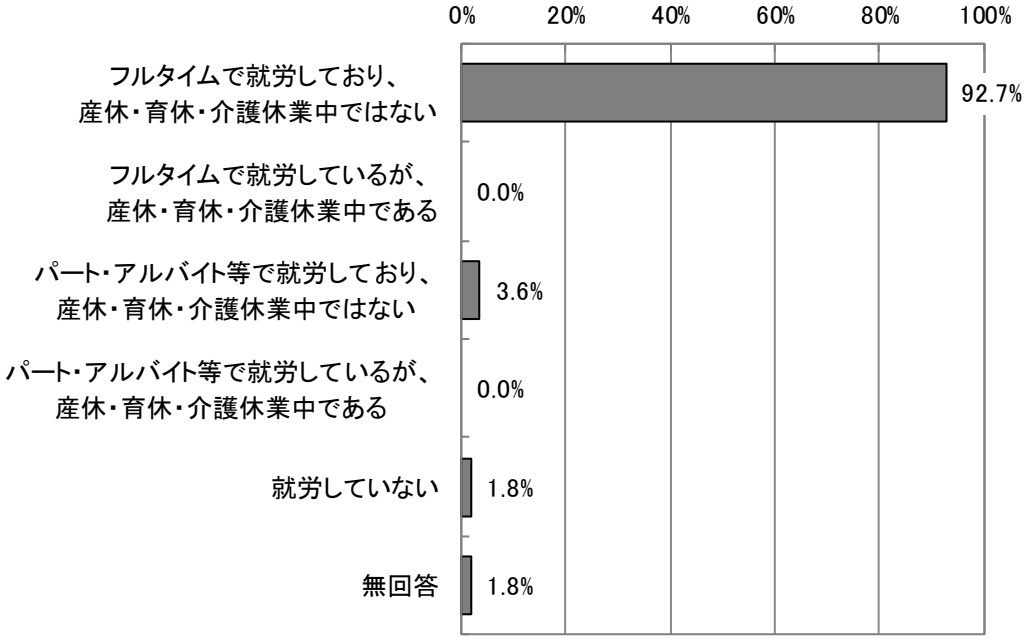
また、産休・育休・介護休業中の人は、フルタイム、パート・アルバイト等を合わせて 9.1%となっています。



項目	度数	構成比
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	16	29.1%
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	7.3%
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	18	32.7%
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1	1.8%
就労していない	16	29.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	55	100.0%

■父親

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 92.7%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 3.6%となっています。



項目	度数	構成比
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	51	92.7%
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	2	3.6%
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
就労していない	1	1.8%
無回答	1	1.8%
回答者数	55	100.0%

問５（1）-1　１週当たりの「就労日数」、「土日就労日数」、１日当たりの「就労時間」

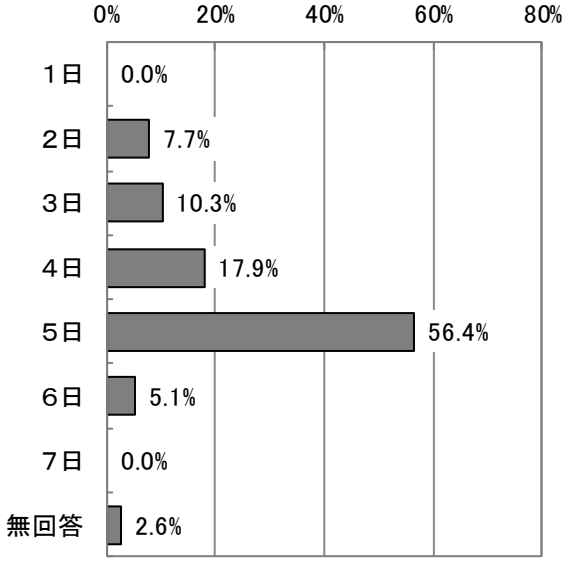
※問５（1）「就労している」を選んだ人を集計。

■母親

現在就労している母親の１週当たりの就労日数は、「５日」が 56.4%、１日当たりの就労時間は、「８時間」が 28.2%と、それぞれ最も高くなっています。

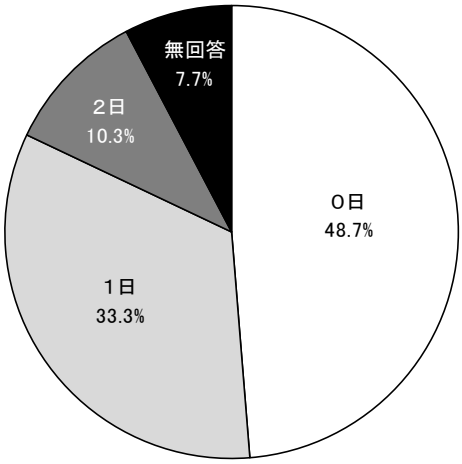
土日の就労日数は、「０日」が 48.7%、「１日」が 33.3%となっています。

（1 週当たりの就労日数）



項目	度数	構成比
1日	0	0.0%
2日	3	7.7%
3日	4	10.3%
4日	7	17.9%
5日	22	56.4%
6日	2	5.1%
7日	0	0.0%
無回答	1	2.6%
回答者数	39	100.0%
非該当	16	
合計	55	

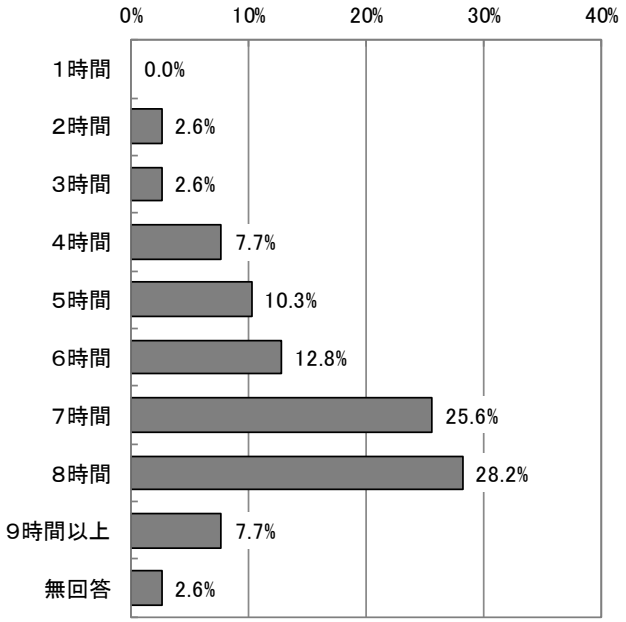
（１週当たりの土日就労日数）



項目	度数	構成比
0日	19	48.7%
1日	13	33.3%
2日	4	10.3%
無回答	3	7.7%
回答者数	39	100.0%
非該当	16	
合計	55	

※母・父ともに土日の就労0日が5件あり

（１日当たりの「就労時間（残業時間を含む））



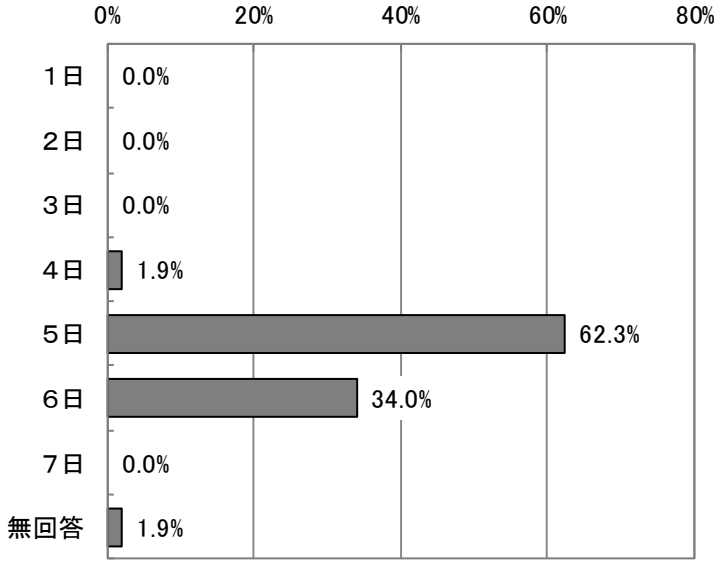
項目	度数	構成比
1時間	0	0.0%
2時間	1	2.6%
3時間	1	2.6%
4時間	3	7.7%
5時間	4	10.3%
6時間	5	12.8%
7時間	10	25.6%
8時間	11	28.2%
9時間以上	3	7.7%
無回答	1	2.6%
回答者数	39	100.0%
非該当	16	
合計	55	

■父親

現在就労している父親の１週当たりの就労日数は、「５日」が 62.3%、１日当たりの就労時間は、「８時間」、「10 時間」がともに 24.5%と、それぞれ最も高くなっています。

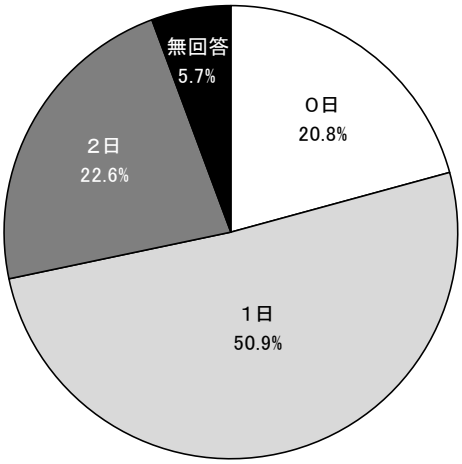
土日の就労日数は、「１日」が 50.9%、「２日」が 22.6%となっています。

（1 週当たりの就労日数）



項目	度数	構成比
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	0	0.0%
4日	1	1.9%
5日	33	62.3%
6日	18	34.0%
7日	0	0.0%
無回答	1	1.9%
回答者数	53	100.0%
非該当	2	
合計	55	

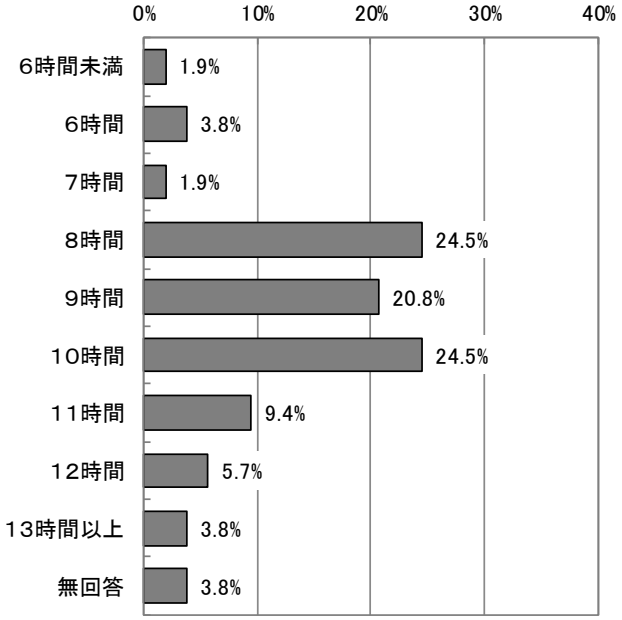
（１週当たりの土日就労日数）



項目	度数	構成比
0日	11	20.8%
1日	27	50.9%
2日	12	22.6%
無回答	3	5.7%
回答者数	53	100.0%
非該当	2	
合計	55	

※父の土日就労が0で母非就労が3件あり

（１日当たりの「就労時間（残業時間を含む））



項目	度数	構成比
6時間未満	1	1.9%
6時間	2	3.8%
7時間	1	1.9%
8時間	13	24.5%
9時間	11	20.8%
10時間	13	24.5%
11時間	5	9.4%
12時間	3	5.7%
13時間以上	2	3.8%
無回答	2	3.8%
回答者数	53	100.0%
非該当	2	
合計	55	

問５（1）-2　家を出る時刻

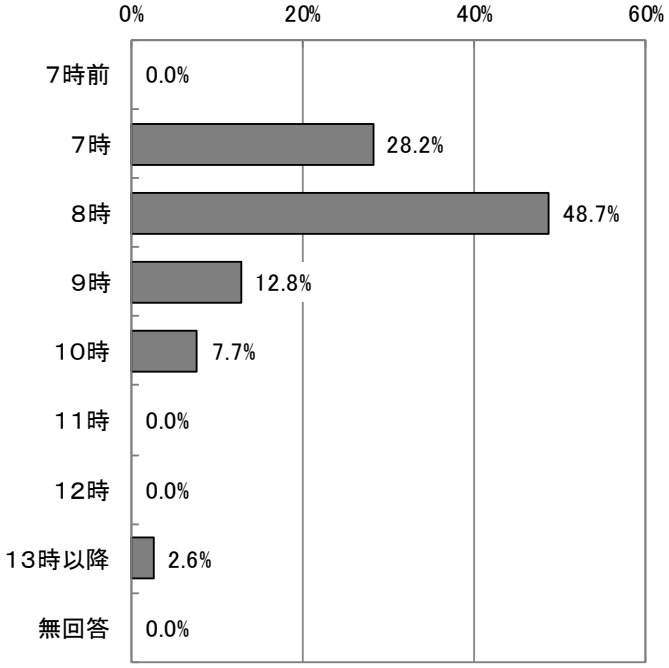
※問５（1）「就労している」を選んだ人を集計。

■母親

就労している母親の家を出る時刻は、「８時」が 48.7%、帰宅時刻は、「18 時」が 38.5%と最も高くなっています。

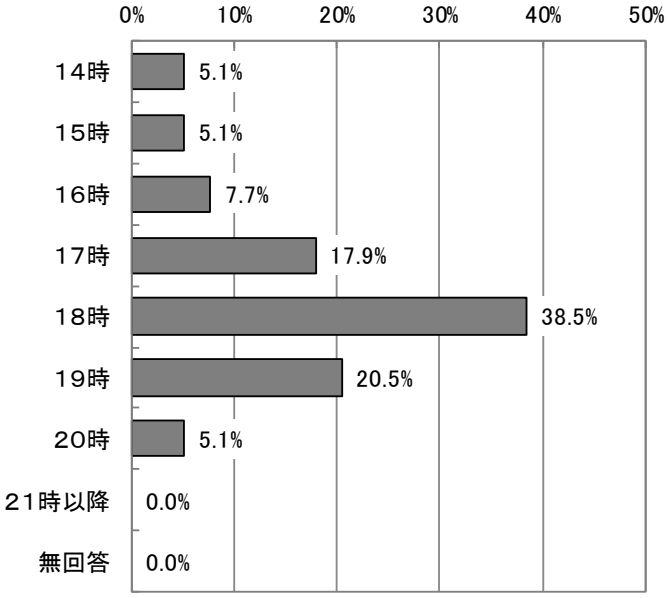
また、家を出てから帰宅するまでの時間は、「9 時間」、「11 時間」がともに 23.1%と最も高くなっています。

（家を出る時刻）



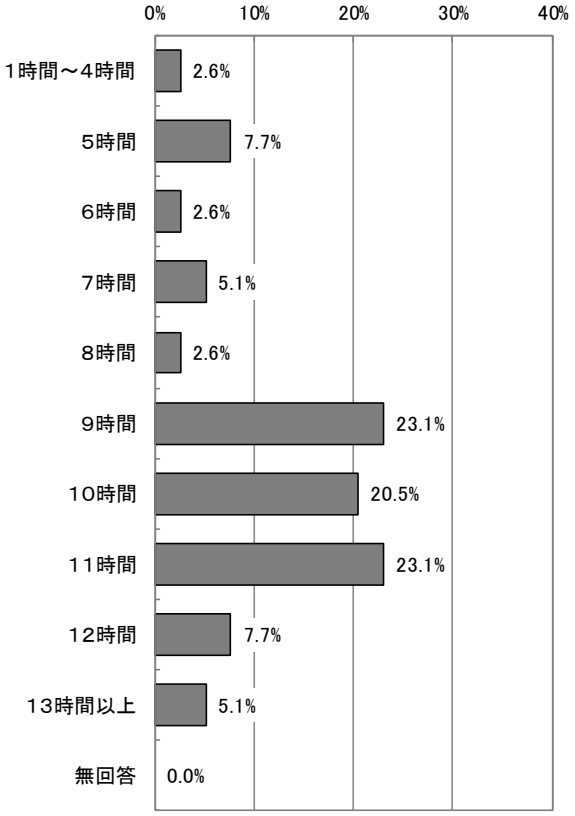
項目	度数	構成比
7時前	0	0.0%
7時	11	28.2%
8時	19	48.7%
9時	5	12.8%
10時	3	7.7%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時以降	1	2.6%
無回答	0	0.0%
回答者数	39	100.0%
非該当	16	
合計	55	

（帰宅時刻）



項目	度数	構成比
14時	2	5.1%
15時	2	5.1%
16時	3	7.7%
17時	7	17.9%
18時	15	38.5%
19時	8	20.5%
20時	2	5.1%
21時以降	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	39	100.0%
非該当	16	
合計	55	

（家を出てから帰宅までの時間）



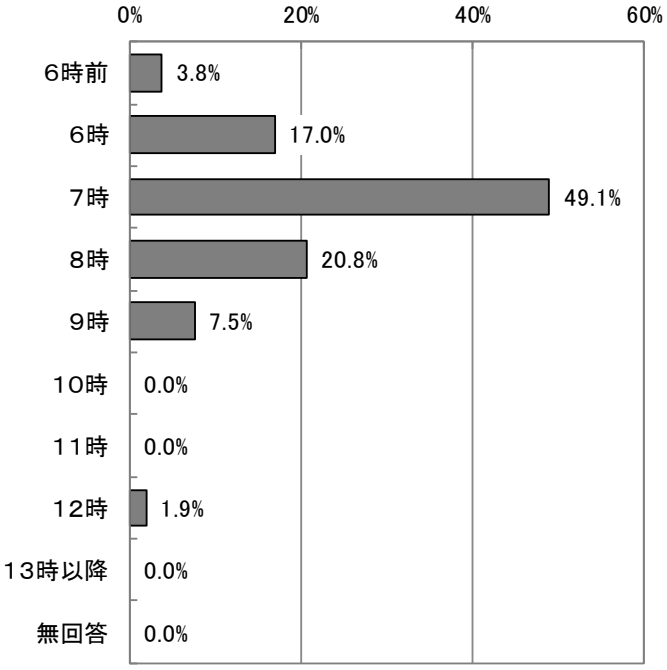
項目	度数	構成比
1時間～4時間	1	2.6%
5時間	3	7.7%
6時間	1	2.6%
7時間	2	5.1%
8時間	1	2.6%
9時間	9	23.1%
10時間	8	20.5%
11時間	9	23.1%
12時間	3	7.7%
13時間以上	2	5.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	39	100.0%
非該当	16	
合計	55	

■父親

就労している父親の家を出る時刻は、「7 時」が 49.1%、帰宅時刻は、「21 時以降」が 34.0%と最も高くなっています。

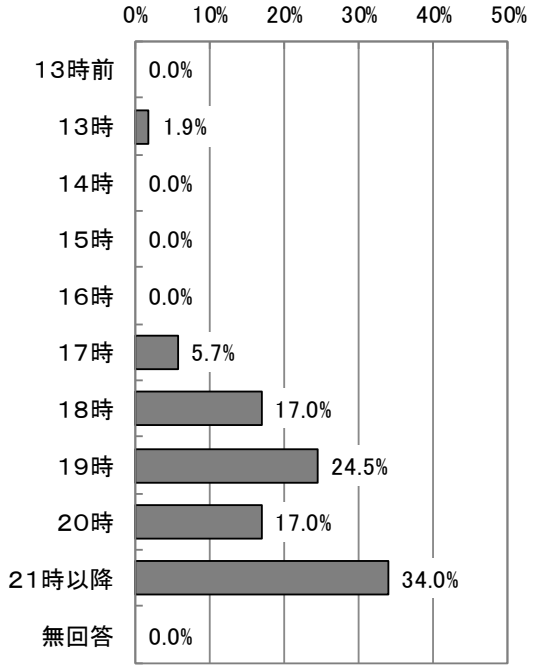
また、家を出てから帰宅するまでの時間は、「14 時間以上」が 30.2%と最も高くなっています。

（家を出る時刻）



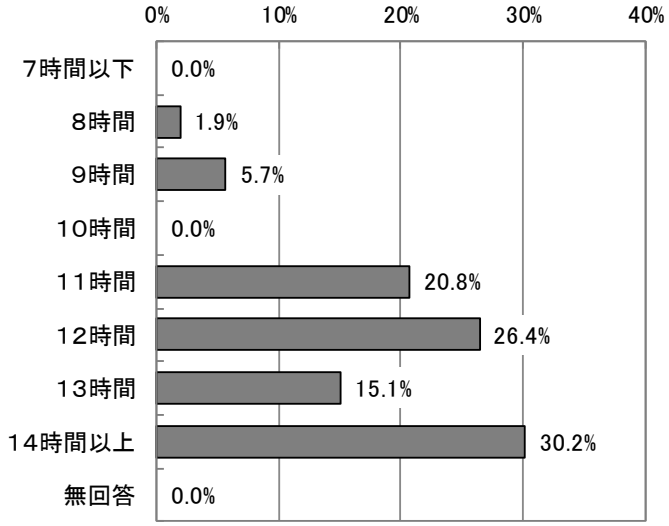
項目	度数	構成比
6時前	2	3.8%
6時	9	17.0%
7時	26	49.1%
8時	11	20.8%
9時	4	7.5%
10時	0	0.0%
11時	0	0.0%
12時	1	1.9%
13時以降	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	53	100.0%
非該当	2	
合計	55	

（帰宅時刻）



項目	度数	構成比
13時前	0	0.0%
13時	1	1.9%
14時	0	0.0%
15時	0	0.0%
16時	0	0.0%
17時	3	5.7%
18時	9	17.0%
19時	13	24.5%
20時	9	17.0%
21時以降	18	34.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	53	100.0%
非該当	2	
合計	55	

（家を出てから帰宅までの時間）



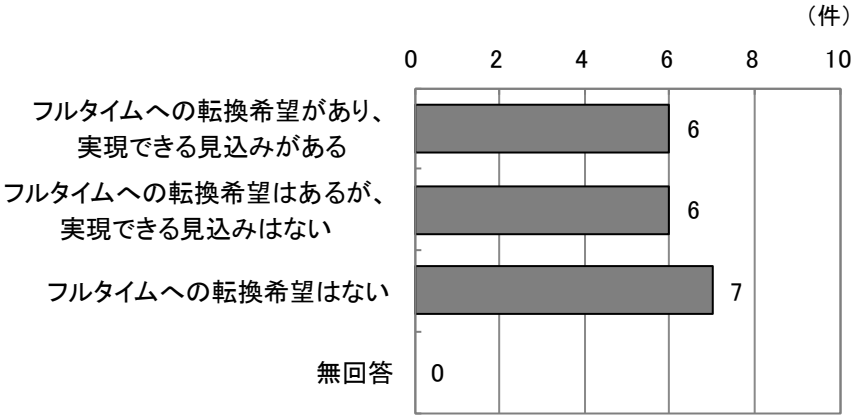
項目	度数	構成比
7時間以下	0	0.0%
8時間	1	1.9%
9時間	3	5.7%
10時間	0	0.0%
11時間	11	20.8%
12時間	14	26.4%
13時間	8	15.1%
14時間以上	16	30.2%
無回答	0	0.0%
回答者数	53	100.0%
非該当	2	
合計	55	

問６　パート・アルバイトで就労している人の転換希望

※問５（1）で、「フルタイム以外」を選んだ人を集計。

■母親

フルタイム以外で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望はない」が７件と最も多く、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」がともに６件となっています。



項目	度数	構成比
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	6	31.6%
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	6	31.6%
フルタイムへの転換希望はない	7	36.8%
無回答	0	0.0%
回答者数	19	100.0%
非該当	36	
合計	55	

■父親

フルタイム以外で就労している父親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が２件となっています。

項目	度数	構成比
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	2	100.0%
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	0	0.0%
フルタイムへの転換希望はない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	2	100.0%
非該当	53	
合計	55	

※回答者数が少ないため、表のみ掲載しています。

問７　就労していない人の就労希望

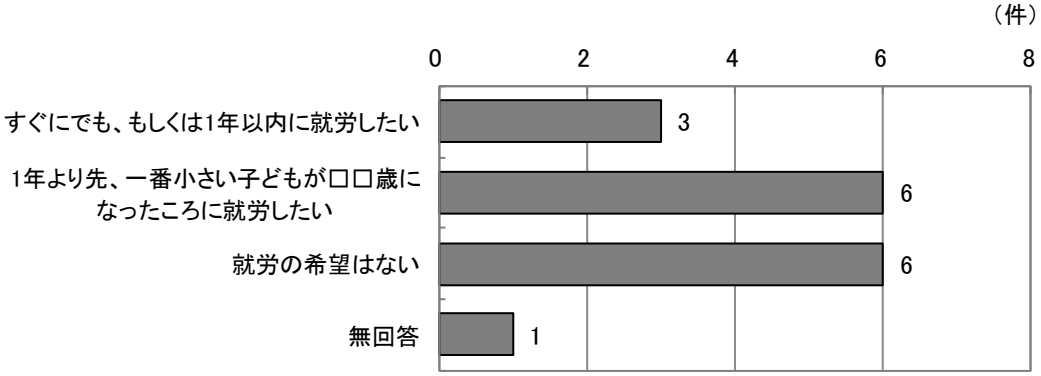
※問５（１）で「就労していない」を選んだ人を集計。

■母親

就労していない母親の就労希望は、「1 年より先、一番小さい子どもが□□歳になった頃に就労したい」、「就労の希望はない」がともに６件となっています。

また、就労を希望する時期（一番小さい子どもの年齢）は、「3 歳」が３件と多くなっています。

更に現在就労していない母親の今後希望する就労形態は、「パートタイム」が３件、1 週当たりの勤務日数は、「3 日」が２件、「4 日」が１件、うち土日の就労希望は、「なし」が２件、「あり」が１件、１日当たりの勤務時間は、「5 時間」～「7 時間」がそれぞれ１件となっています。



項目	度数	構成比
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	3	18.8%
1年より先、一番小さい子どもが□□歳になったころに就労したい	6	37.5%
就労の希望はない	6	37.5%
無回答	1	6.3%
回答者数	16	100.0%
非該当	39	
合計	55	

（希望する就労形態）

項目	度数	構成比
フルタイム	0	0.0%
パートタイム	3	100.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	3	100.0%
非該当	52	
合計	55	

（希望する就労日数）

項目	度数	構成比
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	2	66.7%
4日	1	33.3%
5日	0	0.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	3	100.0%
非該当	52	
合計	55	

（土日の就労希望）

項目	度数	構成比
あり	1	33.3%
なし	2	66.7%
無回答	0	0.0%
回答者数	3	100.0%
非該当	52	
合計	55	

（希望する就労時間）

項目	度数	構成比
3時間以内	0	0.0%
4時間	0	0.0%
5時間	1	33.3%
6時間	1	33.3%
7時間	1	33.3%
無回答	0	0.0%
回答者数	3	100.0%
非該当	52	
合計	55	

（就労を希望する時期（子どもの年齢）

項目	度数	構成比
0歳	0	0.0%
1歳	0	0.0%
2歳	0	0.0%
3歳	3	50.0%
4歳	2	33.3%
5歳	0	0.0%
6歳	0	0.0%
7歳	1	16.7%
8歳以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	6	100.0%
非該当	49	
合計	55	

※回答者数が少ないため、表のみ掲載しています。

■父親

就労していない父親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が１件となっています。

更に現在就労していない父親の今後希望する就労形態は、「フルタイム （１週５日程度・１日８時間程度の就労）」が１件、１週当たりの勤務日数は、「５日」が１件、１日当たりの勤務時間は、「７時間以上」が１件となっています。

項目	度数	構成比
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	1	100.0%
1年より先、一番小さい子どもが□□歳になったころに就労したい	0	0.0%
就労の希望はない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	1	100.0%
非該当	54	
合計	55	

（希望する就労形態）

項目	度数	構成比
フルタイム	1	100.0%
パートタイム	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	1	100.0%
非該当	54	
合計	55	

（希望する就労日数）

項目	度数	構成比
1日	0	0.0%
2日	0	0.0%
3日	0	0.0%
4日	0	0.0%
5日	1	100.0%
6日	0	0.0%
7日	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	1	100.0%
非該当	54	
合計	55	

（希望する就労時間）

項目	度数	構成比
3時間以内	0	0.0%
4時間	0	0.0%
5時間	0	0.0%
6時間	0	0.0%
7時間以上	1	100.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	1	100.0%
非該当	54	
合計	55	

※回答者数が少ないため、表のみ掲載しています。

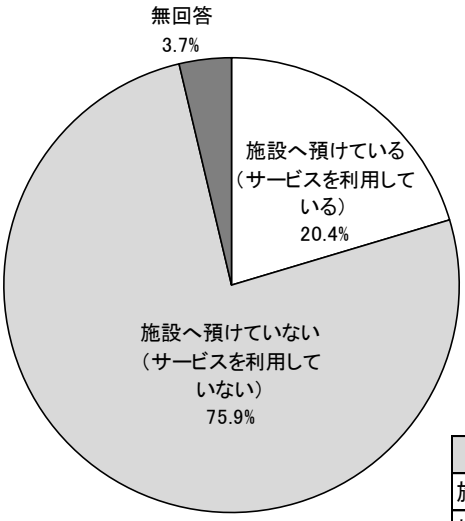
※土日の就労希望、就労を希望する時期(子どもの年齢)は回答がありません。

問８　土曜日・日曜日・祝日における教育・保育事業の利用状況

問５（1）で「就労している」を選んだ人を集計。

■土曜日（就労時）

土曜日における教育・保育の利用状況は、「施設へ預けている（サービスを利用している）」が 20.4%に対し、「施設へ預けていない（サービスを利用していない）」が 75.9%と、施設には預けていないが大きく上回っています。



項目	度数	構成比
施設へ預けている（サービスを利用している）	11	20.4%
施設へ預けていない（サービスを利用していない）	41	75.9%
無回答	2	3.7%
回答者数	54	100.0%
非該当	1	
合計	55	

（1）-1　利用している施設（サービス）（複数回答）

※問８（1）で「施設へ預けている」を選んだ人を集計。

利用している施設（サービス）は、すべての人が「認可保育所」がと回答しています。その他、「認可外の保育施設」、「その他の施設」がともに 1 件となっています。

項目	度数	構成比
認可保育所	11	100.0%
認可保育所の一時預かり	0	0.0%
認定こども園の一時預かり事業（幼稚園型）	0	0.0%
事業所内保育所	0	0.0%
企業主導型保育所	0	0.0%
ファミリー・サポート・センター	0	0.0%
認可外の保育施設	1	9.1%
ベビーシッター	0	0.0%
その他の施設	1	9.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	11	
非該当	44	
合計	55	
全回答数	13	

※回答者数が少ないため表のみ掲載しています。

■日曜日・祝日（就労時）

日曜日・祝日における教育・保育の利用状況は、「施設へ預けていない（サービスを利用していない）」が 43 件となっています。

項目	度数	構成比
施設へ預けている（サービスを利用している）	1	1.9%
施設へ預けていない（サービスを利用していない）	43	79.6%
無回答	10	18.5%
回答者数	54	100.0%
非該当	1	
合計	55	

※回答者数が少ないため、表のみ掲載しています。

（２）-1　利用している施設（サービス）（複数回答）

※問８（2）で「施設へ預けている」を選んだ人を集計。

利用している施設（サービス）は、「事業所内保育所」が１件となっています。

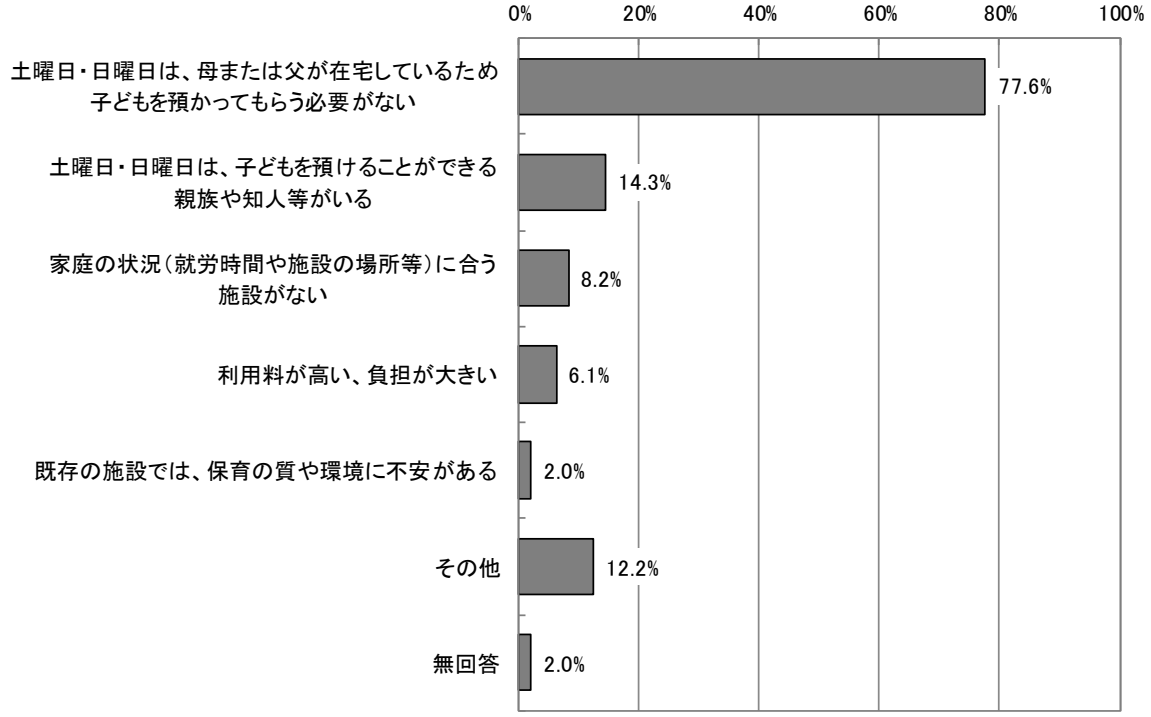
項目	度数	構成比
事業所内保育所	1	100.0%
企業主導型保育所	0	0.0%
ファミリー・サポート・センター	0	0.0%
認可外の保育施設	0	0.0%
ベビーシッター	0	0.0%
その他の施設	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	1	
非該当	54	
合計	55	
全回答数	1	

※回答者数が少ないため、表のみ掲載しています。

問９　教育・保育事業を利用していない理由（複数回答）

※問８（1）又は（2）で「預けていない」を選んだ人を集計。

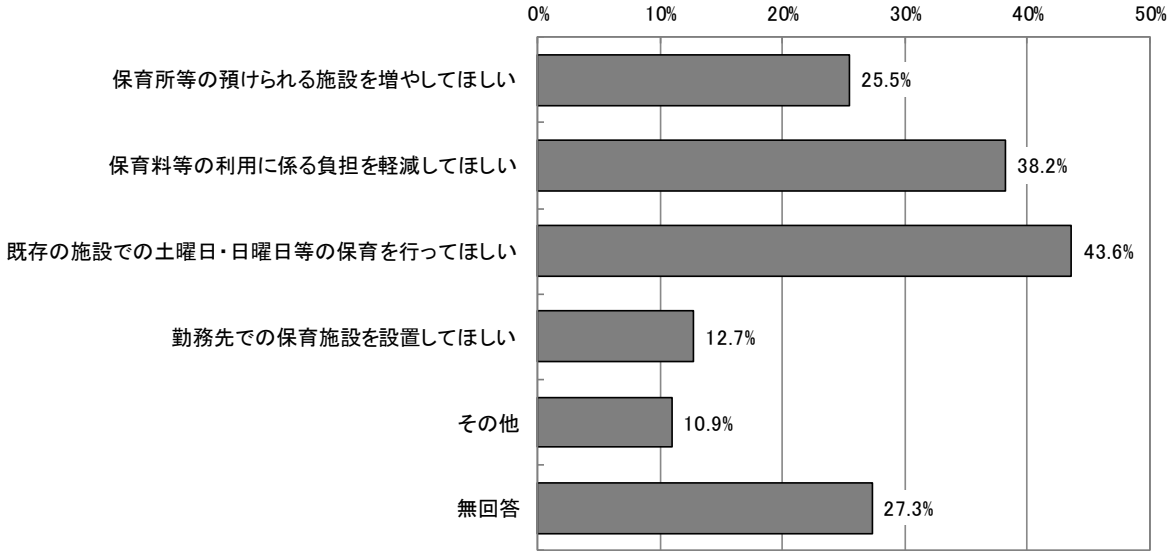
土曜日、日曜日等に教育・保育事業を利用していない理由は、「土曜日・日曜日は、母または父が在宅しているため子どもを預かってもらう必要がない」が 77.6%と最も多く、次いで「土曜日・日曜日は、子どもを預けることができる親族や知人等がいる」が 14.3%となっています。



項目	度数	構成比
土曜日・日曜日は、母または父が在宅しているため子どもを預かってもらう必要がない	38	77.6%
土曜日・日曜日は、子どもを預けることができる親族や知人等がいる	7	14.3%
家庭の状況（就労時間や施設の場所等）に合う施設がない	4	8.2%
利用料が高い、負担が大きい	3	6.1%
既存の施設では、保育の質や環境に不安がある	1	2.0%
その他	6	12.2%
無回答	1	2.0%
回答者数	49	
非該当	6	
合計	55	
全回答数	60	

問 10　土曜日・日曜日等の教育・保育の充実のため、希望すること（複数回答）

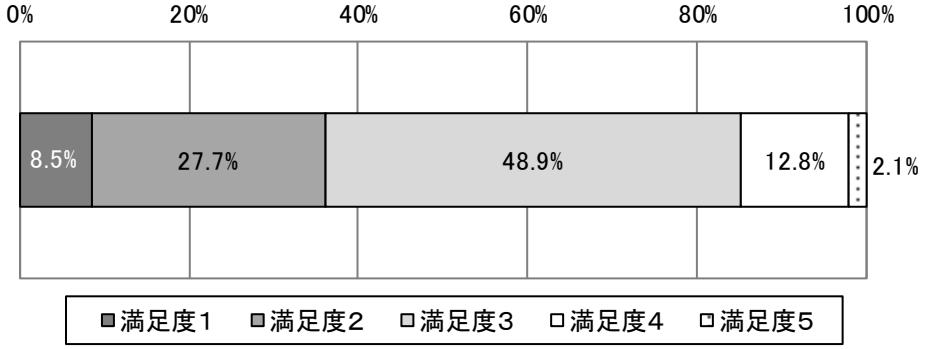
土曜日・日曜日等の教育・保育の充実のため、希望すること「既存の施設での土曜日・日曜日等の保育を行ってほしい」が 43.6%と最も多く、次いで「保育料等の利用に係る負担を軽減してほしい」が 38.2%となっています。



項目	度数	構成比
保育所等の預けられる施設を増やしてほしい	14	25.5%
保育料等の利用に係る負担を軽減してほしい	21	38.2%
既存の施設での土曜日・日曜日等の保育を行ってほしい	24	43.6%
勤務先での保育施設を設置してほしい	7	12.7%
その他	6	10.9%
無回答	15	27.3%
回答者数	55	
全回答数	87	

問 11　川越市における子育ての環境や支援への満足度

住まいの地域における子育て環境や支援への満足度は、「満足度 1(8.5%)」、「満足度 2(27.7%)」の合計が 36.2%に対し、「満足度 4(12.8%)」、「満足度 5(2.1%)」の合計 14.9%となっています。



※満足度 1 (低い)　⇔　満足度 5(高い)

項目	度数	構成比
満足度1	4	8.5%
満足度2	13	27.7%
満足度3	23	48.9%
満足度4	6	12.8%
満足度5	1	2.1%
回答者数	47	100.0%

※無回答を除いています。

調査票

子ども・子育て支援に関するアンケート調査ご協力のお願い

皆様には、日頃から市政の運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、現在川越市子ども・子育て支援事業計画に基づき、各種事業に取り組んでいるところです。また、平成32年度から5年間を計画期間とする次期事業計画の策定の準備を進めています。

この調査は、次期計画策定にあたり、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために、就学前のお子さんがいらっしゃる方の中から無作為に選ばせていただいた世帯にご協力をお願いするものです。

ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。また、回答者個人が特定されたり、個々の内容がほかに漏れたり、ほかの目的に利用されたりすることも一切ございません。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

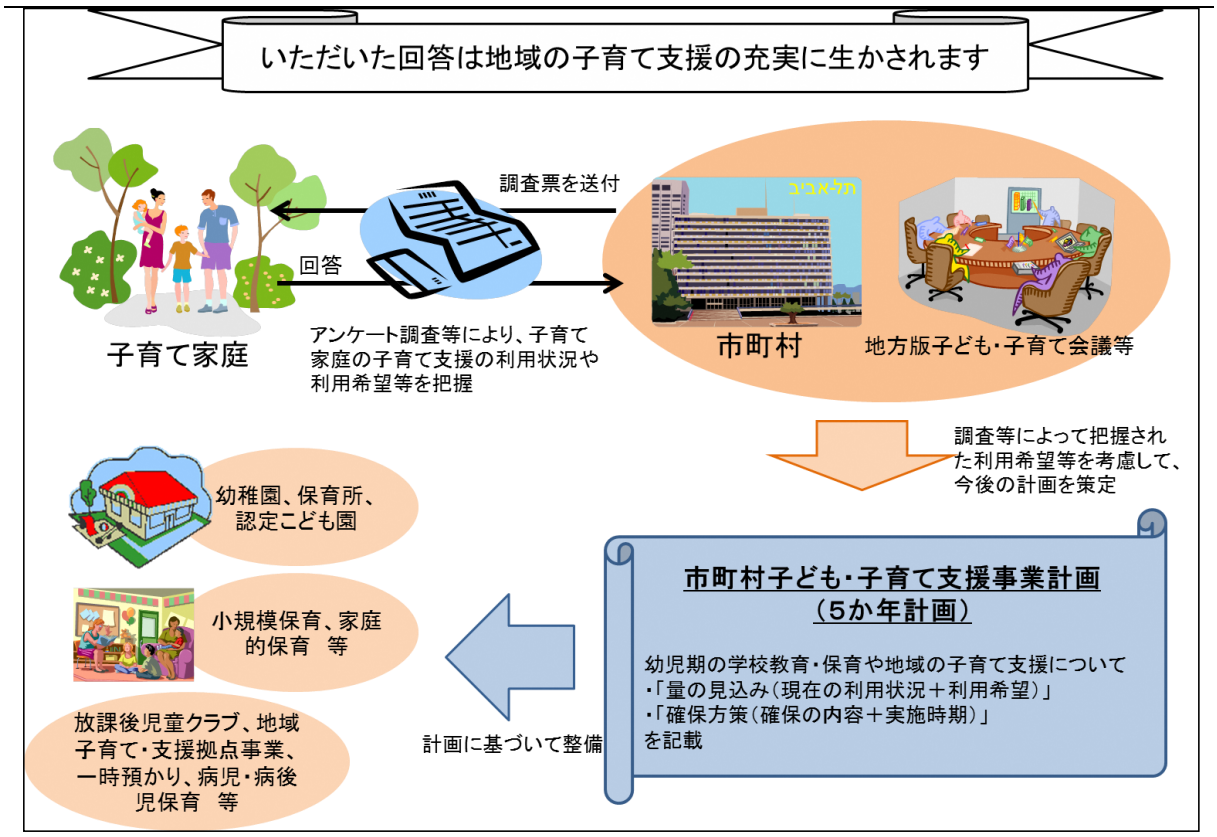
平成30年9月

川越市長　川 合 善 明

《 ご記入に際してのお願い 》

1. 特に注意書きがある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
2. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. 回答に選択肢がある場合は、あてはまる番号を〇で囲んでください。（〇は1つ）などの説明がある場合には、その説明にしたがってください。
4. 回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を〇で囲み、（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
5. 質問によっては数字を記入していただく場合もあります。なお、時間については、24時間制でご記入ください。
6. お子さんやご両親の年齢は、すべて平成30年9月1日現在でご記入ください。
7. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますのでご注意ください。
8. ご記入後、三つ折りのうえ同封の返信用封筒に入れて、平成30年10月19日（金）までにご投函ください。切手を貼る必要はございません。
9. このアンケート用紙にも、封筒にも名前を書く必要はございません。
10. 記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

川越市役所 こども未来部 こども政策課
〒350-8601 埼玉県川越市元町１－３－１
TEL ： 049-224-6278（直通）FAX ： 049-223-8786
mail: kodomoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp



（用語の定義）

この調査票における用語の定義は以下のとおり

・幼　稚　園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設
（学校教育法第22条）
・保　育　所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設
（児童福祉法第39条）
・認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設
（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
・小規模保育施設：保育を必要とする満3歳児未満の子どもに対して保育を行う施設
（利用定員6人～19人）（児童福祉法第6条の3第10項）
・子　育　て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
・教　　育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

先般、平成31年10月から実施予定の幼児教育・保育の無償化について報道がされました。
それによりますと、3歳～5歳児の幼稚園・保育所・認定こども園の保育料は原則無償（幼稚園は月2.57万円を上限）、その他幼稚園における預かり保育や認可外保育施設の保育料（利用料）についても、保育の必要性の認定事由に該当するお子さんに限り月3.7万円まで（預かり保育は幼稚園保育料の上限2.57万円を含む）無償化の対象となることが示されました。また0歳～2歳児につきましても、住民税非課税世帯に限り無償化の対象（月4.2万円を上限）となることが示されました。（平成30年5月「幼稚園、保育所、認定こども園以外の無償化措置の対象範囲等に関する検討会報告書」より）

今後さらに詳細な内容が示されることと思われますが、現時点の内容から変更になる場合も想定されます。

今回の調査につきましては、より実態に即したニーズを把握するため、上記の無償化が実施されることを想定した上で、利用の希望等をご回答いただきますようお願いします。

お住まいの地域についてうかがいます。

問1　お住まいの町名をご記入ください。　（例：元町1丁目、大字新宿）

封筒の宛名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問2　宛名のお子さんの生年月をご記入ください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

平成 □□年 □□月生まれ

問3　宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数 □人　　末子の生年月　平成 □□年 □□月生まれ

問4　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．母親　　2．父親　　3．その他（　　）

問5　この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。（問4で「3．その他」と回答した方は回答不要です）

1．配偶者がいる　　2．配偶者はいない

問6　宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．父母ともに　2．主に母親　3．主に父親　4．主に祖父母　5．その他（　　）

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7　宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．父母ともに　2．母親　3．父親　4．祖父母　5．幼稚園　6．保育所 7．その他（　　）

問8　宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

1．家庭　2．地域　3．幼稚園　4．保育所　5．その他（　　）

問9　日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．日常的に祖父母等の親族にみてもらえる 2．緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	⇒　問9-1へ
3．日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる 4．緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	⇒　問9-2へ
5．いずれもいない	⇒　問10へ

問9-1　**問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。**

1．祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2．祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3．祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5．子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6．その他（　　）

問9-2　**問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。**

1．友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2．友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3．友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5．子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6．その他（　　）

問10　**宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。**

1．いる／ある　⇒　問10-1へ　　2．いない／ない　⇒　問11へ

問10-1　**問10で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人（場所）は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。**

1．配偶者・祖父母等の親族　　2．友人や知人
3．近所の人　　4．子育て支援施設（地域子育て支援拠点、児童館等）・NPO
5．保健所・保健センター　　6．保育所
7．幼稚園　　8．民生委員・児童委員
9．かかりつけの医師　　10．自治体の子育て関連担当窓口
11．その他（【例】ベビーシッター　　）

問11　**子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。**

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問12　**宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。**

（1）　**母親**　**【父子家庭の場合は記入は不要です】**　**当てはまる番号1つに○をつけてください。**

1．正規雇用　　2．非正規雇用（パート・アルバイト含む）　　3．就労していない

（1）-1　**具体的な状況について、当てはまる番号1つに○をつけてください。**

1．フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2．フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である　⇒(1)-2へ
3．フルタイム以外で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4．フルタイム以外で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5．以前は就労していたが、現在は就労していない　⇒(2)へ
6．これまで就労したことがない

（1）-2　（1）-1で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

1週当たり □日　うち土・日 □日　　1日当たり □□時間

（1）-3　（1）-1で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

家を出る時刻 □□時頃　　帰宅時刻 □□時頃

（1）-4　（1）－1で「1. ～4. 」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。通勤にかかる時間についてお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。時間は（例）005分～120分のように、分単位でお答えください。（数字は枠内に一字）また、主な通勤の方法について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

通勤にかかる時間 □□□分
主な通勤の方法　1．徒歩　2．自転車　3．車　4．バス　5．電車　6．その他（　　）

（2）　父親　【母子家庭の場合は記入は不要です】　当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．正規雇用　　2．非正規雇用（パート・アルバイト含む）　　3．就労していない

（2）-1　具体的な状況について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2．フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である　⇒(2)-2へ
3．フルタイム以外で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4．フルタイム以外で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5．以前は就労していたが、現在は就労していない　⇒問14へ
6．これまで就労したことがない

（2）-2　（2）-1で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

1週当たり □日　うち土・日 □日　　1日当たり □□時間

（2）-3　（2）-1で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

家を出る時刻 □□時頃　　帰宅時刻 □□時頃

（2）-4　（2）－1で「1．～4．」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。通勤にかかる時間についてお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。時間は（例）005分～120分のように、分単位でお答えください。（数字は枠内に一字）また、主な通勤の方法について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

通勤にかかる時間　□□□分
主な通勤の方法　1．徒歩　2．自転車　3．車　4．バス　5．電車　6．その他（　　）

問13　問12の（1）-1または（2）-1で「3．」又は「4．」（フルタイム以外で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

（1）母親

1．フルタイム（週5日・1日8時間程度）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3．フルタイム以外の就労を続けることを希望
4．フルタイム以外の就労をやめて子育てや家事に専念したい

（2）父親

1．フルタイム（週5日・1日8時間程度）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3．フルタイム以外の就労を続けることを希望
4．フルタイム以外の就労をやめて子育てや家事に専念したい

問14　問12の（1）-1または（2）-1で「5．以前は就労していたが、現在は就労していない」又は「6．これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）母親

1．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2．1年以上先、一番下の子どもが　□□歳になったころに就労したい
3．すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態　ア．フルタイム（週5日・1日8時間程度の就労）
イ．パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり　□日　1日当たり　□□時間

（2）父親

1．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2．1年以上先、一番下の子どもが　□□歳になったころに就労したい
3．すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態　ア．フルタイム（週5日・1日8時間程度の就労）
イ．パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり　□日　1日当たり　□□時間

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問15-1に示した事業が含まれます。

問15　宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．利用している　⇒　問15-1へ	2．利用していない　⇒　問15-6へ

問15-1　問15-1～問15-5は、問15で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．幼稚園
（通常の就園時間の利用）

2．幼稚園の預かり保育
（1．の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業【定期的な利用の場合】）

3．入園前の幼稚園の預かり保育

4．認定こども園
（教育(1号)認定による通常の教育時間の利用）

5．認定こども園の一時預かり保育
（4．の通常の教育時間に加え、延長して預かる事業）

6．認可保育所
（市等の認可を受けた施設）

7．認定こども園
（保育(2号・3号)認定による利用）

8．小規模保育施設
（市等の認可を受け、低年齢児を対象に少人数の子どもを保育する施設）

9．家庭的保育
（市等の認可を受け、保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）

10．事業所内保育施設
（企業が主に従業員用に運営する施設）

11．家庭保育室
（市等の指定を受けた認可外保育施設）

12．居宅訪問型保育
（ベビーシッターのように、保育者が子どもの家庭を訪問し保育する事業）

13．その他の認可外の保育施設

14．ファミリー・サポート・センター
（地域における子育ての援助活動、保育所等への送迎や学童保育終了後の預かりを行う事業）

15．児童発達支援センター・児童発達支援事業所
（心身に障害または発達の遅れがある就学前児童に、集団生活への適応訓練などを行う施設）

16．その他（　　）

問15-2　平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。時間は、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

（1）現在

1週当たり □日　1日当たり □□時間（□□時～□□時）

（2）希望

1週当たり □日　1日当たり □□時間（□□時～□□時）

問15-3　現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1．」「2．」のいずれかに○をつけてください 。「2．他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。

1．市内	2．他の市町村（市町村名：　　）

問15-4　平日に定期的に利用している教育・保育の事業への主な送迎者は誰ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、送迎にかかる時間はどれくらいですか。時間は、（例）005分～120分のように、分単位でお答えください。

主な送迎者　1．母親　2．父親　3．祖父母　4．その他（　　）

送迎にかかる時間　□□□分

問15-5　平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．子どもの教育や発達のため
2．子育てをしている方が現在就労している
3．子育てをしている方が就労予定がある／求職中である
4．子育てをしている方が家族・親族などを介護している
5．子育てをしている方に病気や障害がある
6．子育てをしている方が学生である
7．その他（　　）

問15-6　問15で「2．利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないため等）
2．子どもの祖父母や親戚の人がみている
3．近所の人や父母の友人・知人がみている
4．利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5．利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6．使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7．利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8．子どもがまだ小さいため（　歳くらいになったら利用しようと考えている）
9．その他（　　）

問16　すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
※無償化の措置を踏まえてご回答ください。なお、【　　】に掲載されている利用料等は平成30年5月現在の金額です。

1．幼稚園（通常の就園時間の利用）
【平均入園料64,000円程度　平均月額保育料25,000円程度】※3歳で入園した場合の当該年度
※世帯の所得状況に応じた補助金が支給されます。支給金額：年額21,000円～308,000円

2．幼稚園の預かり保育（1．の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業【定期的な利用の場合】）
【利用料金は園によって独自に設定されています。】

3．入園前の幼稚園の預かり保育
【利用料金は園によって独自に設定されています。】

4．認定こども園（教育(1号)認定による通常の教育時間の利用）
【月額保育料0円～24,000円程度】※世帯の所得状況・児童年齢に応じた保育料設定
例）4月から8月までの保育料は前年度の市民税所得割額
　　9月から3月までの保育料は今年度の市民税所得割額
　　市民税の所得割額　77,101円以上211,200円未満　3歳～5歳児　20,500円

5．認定こども園の一時預かり保育（4．の通常の教育時間に加え、延長して預かる事業）
【2．と同様】

6．認可保育所（市等の認可を受けた保育所（定員20人以上））
【月額保育料0円～59,300円程度】※世帯の所得状況・児童年齢に応じた保育料設定
例）4月から8月までの保育料は前年度の市民税所得割額
　　9月から3月までの保育料は今年度の市民税所得割額
　　市民税の所得割額　130,000円以上145,000円未満
　　3歳未満児　42,200円　3歳児　23,200円　4歳児以上　21,700円

7．認定こども園（保育(2号・3号)認定による利用）
【6．と同様】

8．小規模保育施設（市等の認可を受け、低年齢児を対象に少人数(概ね6～19人)の子どもの保育を行う施設）
【月額利用料　認可保育所と同様】

選択肢は次のページに続きます

9．家庭的保育（市等の認可を受け、保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する施設）※市内当該施設なし
【月額利用料　認可保育所と同様】

10．事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
※現在お勤めの企業が設置していない場合でも、利用希望があれば○をつけて下さい

11．家庭保育室（市等の指定を受けた認可外保育施設）
【平均入園料13,000円程度　平均月額保育料54,000円程度】

12．居宅訪問型保育（ベビーシッターのように、保育者が子どもの家庭を訪問し保育する事業）※市内当該施設なし
【月額利用料　認可保育所と同様】

13．その他の認可外の保育施設

14．ファミリー・サポート・センター（地域における子育ての援助活動、保育所等への送迎や学童保育終了後の預かりを行う事業）【利用料　1時間700円】

15．児童発達支援センター・事業所
【月額利用料　利用したサービス費用の1割負担　世帯の所得に応じて月額の負担上限0円～37,200円】

16．その他（　　）

問16-1　**教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1．」「2．」のいずれかに○をつけてください。「2．他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。**

1．市内　　2．他の市町村（市町村名：　　）

問16-2　**問16で「1．幼稚園（通常の就園時間の利用）」又は「2．幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3．～16．」にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。**

1．はい　　2．いいえ

問17　**川越市では、通勤等で、電車を利用する子育て世帯等の利便性を高めるため、本川越駅周辺に保育ステーションの設置を予定しています。保育ステーションでは、早朝に児童を預かり、保育所等の開園に合わせての送迎や、保護者の方が迎えに来るまでの預かり保育を送迎保育事業として行います。**
このような送迎保育事業を利用したいと思いますか。当てはまる番号1つに○を付けてください。また、利用したい時間帯を（例）06時～20時のように24時間制でご記入ください。（数字は枠内に一字）なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1．利用したいと思わない
2．ほぼ毎日利用したい
3．週に数日利用したい　→
4．月に数日利用したい

利用したい時間帯
□□時から　□□時まで

問17-1　**問17で「2．」～「4．」の「利用したい」に○をつけた方にうかがいます。自宅から保育ステーションへの送迎方法は何が考えられますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、送迎を希望する施設の種類と地域について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。**

■保育ステーションまでの送迎方法
1．徒歩　2．自転車　3．車　4．バス　5．電車　6．その他（　　）
■送迎先の施設の種類
1．幼稚園　2．保育所　3．認定こども園　4．小規模保育　5．事業所内保育　6．その他（　　）
■送迎先の地域（最寄駅）
1．川越駅　2．川越市駅　3．本川越駅　4．西川越駅　5．霞ヶ関駅　6．的場駅　7．笠幡駅
8．鶴ヶ島駅　9．南大塚駅　10．南古谷駅　11．新河岸駅　12．上福岡駅　13．その他（　　）

問17-2　**問17で「1．利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。利用したいと思わない理由は何ですか。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。**

1．現状の保育所等の利用だけで足りている
2．利用したいが、事業の場所（本川越駅周辺）は、他の駅（　　駅）の方が良い
3．利用したいが、保育ステーションまでの送迎手段がない
4．利用したいが、時間的な都合により送迎することができない
5．その他（　　）

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問18　**宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（子育て中の親子が交流したり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター広場」「つどいの広場」「わくわく広場」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。**

1．地域子育て支援拠点事業
　1週当たり □□回　もしくは　1ヶ月当たり □□回程度
2．その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名：　　）
　1週当たり □□回　もしくは　1ヶ月当たり □□回程度
3．利用していない

問19　**地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。**

1．利用していないが、今後利用したい
　1週当たり □□回　もしくは　1ヶ月当たり □□回程度
2．すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
　1週当たり　更に □□回　もしくは　1ヶ月当たり　更に □□回程度
3．新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問20　**下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑭の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。**

	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 今後利用したい
① 母親（父親）学級、両親学級、育児学級	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
② 保健センターの情報・相談事業	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
③ 家庭教育に関する学級・講座	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
④ 家庭児童相談事業	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑤ 教育相談センター・教育相談室	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑥ 保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑦ 幼稚園の未就園児教室（親子教室）	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑧ 子育て支援のホームページ	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑨ 子育て支援情報誌こえどちゃん	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑩ 子育て支援情報メール配信	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑪ 利用者支援事業（母子保健ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ）	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑫ 利用者支援事業（子育て支援ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ）	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑬ 利用者支援事業（保育ｺﾝｼｪﾙｼﾞｭ）	はい　いいえ	はい　いいえ	はい　いいえ
⑭ 子育てアプリ※現在未実施			はい　いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問21　**宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。**

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

（1）土曜日

1．利用する必要はない
2．ほぼ毎週利用したい
3．月に1～2回は利用したい
⇒ 利用したい時間帯 □□時から □□時まで

（2）日曜・祝日

1．利用する必要はない
2．ほぼ毎週利用したい
3．月に1～2回は利用したい
⇒ 利用したい時間帯 □□時から □□時まで

問21-1　**問21の（1）もしくは（2）で、「3．月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。**

1．月に数回仕事が入るため
2．平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3．親族の介護や手伝いが必要なため
4．リフレッシュのため
5．その他（　　）

問22　**「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。**

1．利用する必要はない
2．休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3．休みの期間中、週に数日利用したい
⇒ 利用したい時間帯 □□時から □□時まで

問22-1　**問22で、「3．週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。**

1．週に数回仕事が入るため
2．買い物等の用事をまとめて済ませるため
3．親族の介護や手伝いが必要なため
4．リフレッシュのため
5．その他（　　）

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問23　**平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問15で1．に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問24にお進みください。**
この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1．あった　⇒　問23-1へ
2．なかった　⇒　問24へ

問23-1　宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字。）。

1年間の対処方法	日数	
ア．父親が休んだ	□□日	⇒　問23-2へ
イ．母親が休んだ	□□日	
ウ．（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	□□日	⇒　問23-5へ
エ．父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□日	
オ．病児・病後児の保育を利用した	□□日	
カ．ベビーシッターを利用した	□□日	
キ．子どもだけ（本人のみ、きょうだいのみを含む）で留守番をさせた	□□日	
ク．その他（　　）	□□日	

問23-1で「ア．」「イ．」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問23-2　その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。
（病児・病後児保育事業：日額2,000円（前年度市民税非課税世帯等は無料）※利用にあたっては他に飲食物費や医療費等の別途負担がかかる場合があります）

1．できれば病児・病後児保育施設等を利用したい　⇒　□□日　⇒　問23-3へ
2．利用したいとは思わない　⇒　問23-4へ

問23-3　問23-2で「1．できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業
2．小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3．地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：緊急サポートセンター等）
4．自宅に保育者が訪問して保育を行う訪問型による事業※現在未実施
5．その他（　　）

問23-4　問23-2で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2．地域の事業の質に不安がある
3．地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない
4．利用料がかかる・高い
5．利用料がわからない
6．親が仕事を休んで対応したほうがよい
7．その他（　　）

問23-1で「ウ．」から「ク．」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問23-5　その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ．」から「ク．」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1．できれば仕事を休んで看たい　⇒　□□　日　⇒　問24へ
2．休んで看ることは非常に難しい　⇒　問23-6へ

問23-6　問23-5で「2．休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．子どもの看護を理由に休みがとれない　2．自営業なので休めない
3．休暇日数が足りないので休めない　4．その他（　　）

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問24　宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

利用している事業	日数（年間）
1．一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	□□日
2．幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期の利用のみ）	□□日
3．ファミリー・サポート・センター （地域における子育ての援助活動）	□□日
4．トワイライトステイ （児童養護施設で平日※の夜間（21時30分まで）子どもを預かる事業）	□□日
5．ショートステイ （児童養護施設で平日※に宿泊を伴って子どもを預かる事業）	□□日
6．ベビーシッター	□□日
7．その他（　　）	□□日
8．利用していない　⇒　問24-1へ	

⇒問25へ

※祝日及び年末年始を除く

問24で「8．利用していない」と回答した方にうかがいます。

問24-1　現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．特に利用する必要がない
2．事業について知らなかった
3．地域の事業の質に不安がある
4．地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5．利用料がかかる・高い
6．利用料がわからない
7．自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
8．事業の利用方法（手続き等）がわからない
9．定員に空きがない等の理由で断られた
10．その他（　　）

問25　宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1．利用したい		計□□日
	ア．私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	□□日
	イ．冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	□□日
	ウ．不定期の就労	□□日
	エ．その他（　　）	□□日
2．利用する必要はない ⇒ 問26へ		

⇒ 問25-1へ

問25-1　問25で「1．利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問25の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2．小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）
3．地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4．その他（　　）

問26　この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1年間の対処方法		日数
1．あった	ア．（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	□□日
	イ．ショートステイを利用した（児童養護施設で１週間を限度として、宿泊を伴って子どもを預かる事業）	□□日
	ウ．イ．以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	□□日
	エ．子どもを同行させた	□□日
	オ．子どもだけ（本人のみ、きょうだいのみを含む）で留守番をさせた	□□日
	カ．その他（　　）	□□日
2．なかった		

⇒ 問26-1へ

問26で「1．あった　ア．(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。ア．以外を選択した方は⇒問27へ

問26-1　その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．非常に困難　　2．どちらかというと困難　　3．特に困難ではない

宛名のお子さんが５歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒5歳未満の方は、問31へ

問27　宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、放課後児童クラブ［学童保育］の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
月額利用料 平成30年度 8,000円　傷害保険掛金年額 500円※世帯の所得状況等により保育料が減免される場合があります。このほか、各保護者会でおやつ代、教材費、保護者会費を徴収しています。

1. 自宅	週□日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週□日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週□日くらい
4. 児童館	週□日くらい
5. 放課後子ども教室　※	週□日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週□日くらい⇒下校時から□□時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週□日くらい
8. 放課後等デイサービス※	週□日くらい
9. その他（公民館、公園など）	週□日くらい

※「放課後子ども教室」・・・地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらずすべての小学生が利用できます。川越市では現在実施していません。
※「放課後等デイサービス」・・・心身に障害または発達の遅れがある児童を対象に、学校終了後または休業日に、生活能力の向上に必要な訓練、社会との交流の促進などを行います。

問28　宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、放課後児童クラブ［学童保育］の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。※先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週□日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週□日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週□日くらい
4. 児童館	週□日くらい
5. 放課後子ども教室　※	週□日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週□日くらい⇒下校時から□□時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週□日くらい
8. 放課後等デイサービス※	週□日くらい
9. その他（公民館、公園など）	週□日くらい

※「放課後子ども教室」・・・地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらずすべての小学生が利用できます。川越市では現在実施していません。
※「放課後等デイサービス」・・・心身に障害または発達の遅れがある児童を対象に、学校終了後または休業日に、生活能力の向上に必要な訓練、社会との交流の促進などを行います。

問29　問27または問28で「6．放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）土曜日

1．低学年（1～3年生）の間は利用したい 2．高学年（4～6年生）になっても利用したい　⇒ 3．利用する必要はない	利用したい時間帯□□時から　□□時まで

（2）日曜・祝日

1．低学年（1～3年生）の間は利用したい 2．高学年（4～6年生）になっても利用したい　⇒ 3．利用する必要はない	利用したい時間帯□□時から　□□時まで

問30　宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1．低学年（1～3年生）の間は利用したい 2．高学年（4～6年生）になっても利用したい　⇒ 3．利用する必要はない	利用したい時間帯□□時から　□□時まで

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問31　**宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「3．取得していない」を選んだ方はその理由の番号を下記よりすべてご記入ください。**

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1．働いていなかった 2．取得した（取得中である） 3．取得していない ⇒	1．働いていなかった 2．取得した（取得中である） 3．取得していない ⇒

1．職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2．仕事が忙しかった
3．（産休後に）仕事に早く復帰したかった
4．仕事に戻るのが難しそうだった
5．昇給・昇格などが遅れそうだった
6．収入減となり、経済的に苦しくなる
7．保育所（園）などに預けることができた
8．配偶者が育児休業制度を利用した
9．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10．子育てや家事に専念するため退職した
11．職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12．有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13．育児休業を取得できることを知らなかった
14．産前産後の休暇（産前６週間、産後８週間）を取得できることを知らず、退職した
15．その他（　　）

問31-1　**子どもが原則１歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月、さらにそれ以後も同様の要件を満たす場合には再延長でき、最長2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等の期間について社会保険（健康保険・厚生年金保険）の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。**

「育児休業給付」…育児・介護休業法による育児休業をする従業員に対して雇用保険より給付される給付金。

1．育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2．育児休業給付のみ知っていた
3．保険料免除のみ知っていた
4．育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問31で「2．取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒　該当しない方は、問32へ

問31-2　**育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。**

（1）母親

1．育児休業取得後、職場に復帰した
2．現在も育児休業中である
3．育児休業中に離職した

（2）父親

1．育児休業取得後、職場に復帰した
2．現在も育児休業中である
3．育児休業中に離職した

問31-2で「1．育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問31-3　育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所等の入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1．」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1．」を選択してください。

（1）母親

1．年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2．それ以外だった

（2）父親

1．年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2．それ以外だった

問31-4　育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）母親

実際の取得期間 □歳 □□ヶ月	希望の取得期間 □歳 □□ヶ月

（2）父親

実際の取得期間 □歳 □□ヶ月	希望の取得期間 □歳 □□ヶ月

問31-5　お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）母親

□歳 □□ヶ月

（2）父親

□歳 □□ヶ月

問31-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問31-6　希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方　※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1．希望する保育所に入るため	2．配偶者や家族の希望があったため
3．経済的な理由で早く復帰する必要があった	4．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5．その他（　　）	

②父親

1．希望する保育所に入るため	2．配偶者や家族の希望があったため
3．経済的な理由で早く復帰する必要があった	4．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5．その他（　　）	

(1)「希望」より遅く復帰した方　　※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1．希望する保育所に入れなかったため	2．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3．配偶者や家族の希望があったため	4．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5．子どもをみてくれる人がいなかったため	6．その他（　　）

②父親

1．希望する保育所に入れなかったため	2．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3．配偶者や家族の希望があったため	4．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5．子どもをみてくれる人がいなかったため	6．その他（　　）

問31-2で「1．育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問31-7　育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

（1）母親

1．利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2．利用した
3．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

（2）父親

1．利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2．利用した
3．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問31-7で「3．利用したかったが、利用しなかった」と回答した方にうかがいます。

問31-8　短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由すべてに○をつけてください。

（1）母親

1．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2．仕事が忙しかった
3．短時間勤務にすると給与が減額される
4．短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7．子育てや家事に専念するため退職した
8．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10．その他（　　）

（2）父親

1．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2．仕事が忙しかった
3．短時間勤務にすると給与が減額される
4．短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7．子育てや家事に専念するため退職した
8．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10．その他（　　）

問31-2で「2．現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問31-9　お子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取得しますか。□内で数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）母親

□歳　□□ヶ月

（2）父親

□歳　□□ヶ月

問32　お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

満足度が低い				満足度が高い
1	2	3	4	5

問33　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

川越市マスコットキャラクター　ときも

子ども・子育て支援に関するアンケート調査ご協力のお願い

放課後児童クラブ（学童保育）利用保護者の方へ

皆様には、日頃から市政の運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、現在川越市子ども・子育て支援事業計画に基づき、各種事業に取り組んでいるところです。また、平成32年度から5年間を計画期間とする次期事業計画の策定の準備を進めています。

この調査は、計画の策定にあたり、放課後児童クラブ（学童保育）に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために、学童保育を利用していらっしゃる世帯にご協力をお願いするものです。

ここで回答していただいた内容は、学童保育等の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。また、回答者個人が特定されたり、個々の内容がほかに漏れたり、ほかの目的に利用されたりすることも一切ございません。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

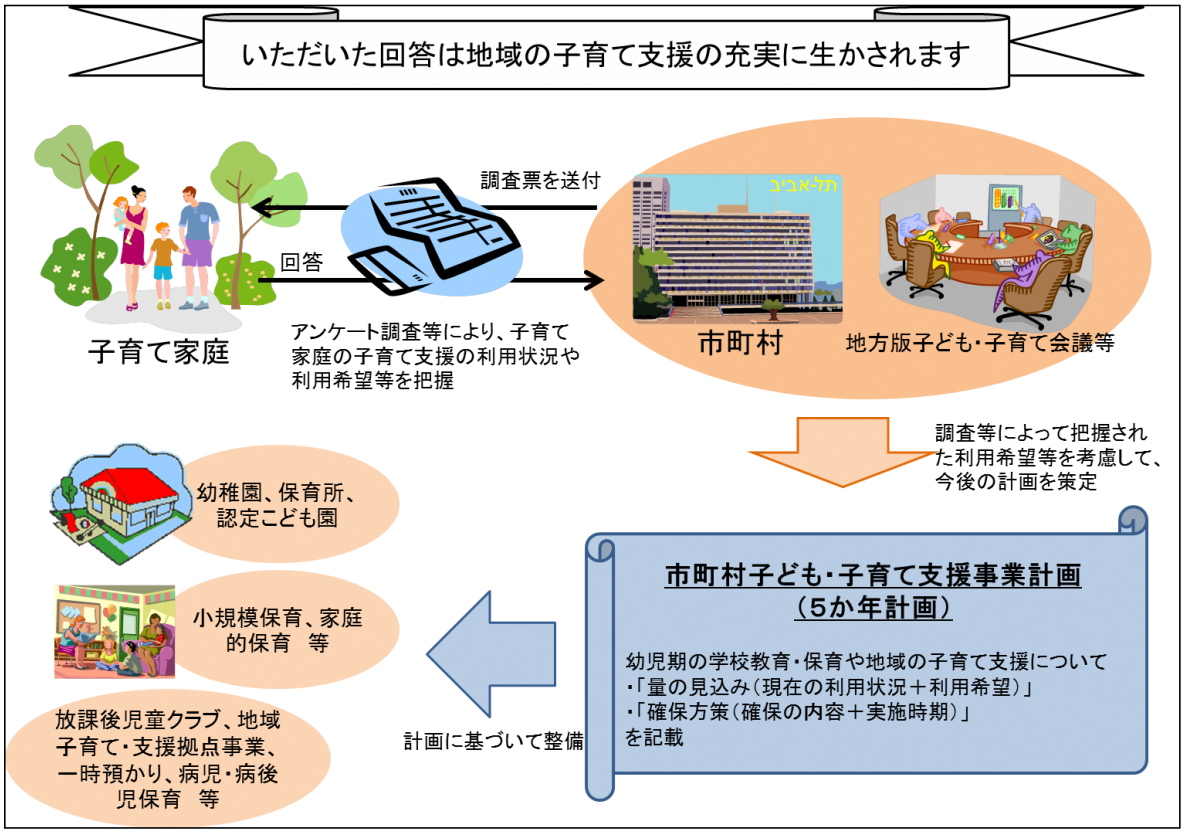
平成30年9月

川越市長　川 合 善 明

《 ご記入に際してのお願い 》

1. 本調査とは別に、就学前のお子さんがいらっしゃる方の中から無作為に選んだ世帯に同様の調査を実施しております。両方の調査の対象となる場合もございますが、御協力くださいますようお願いいたします。
2. 特に注意書きがある場合以外は、現在利用しているお子さんについてご記入ください。
3. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
4. 回答に選択肢がある場合は、あてはまる番号を〇で囲んでください。（〇は1つ）などの説明がある場合には、その説明にしたがってください。
5. 回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を〇で囲み、（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
6. 質問によっては数字を記入していただく場合もあります。なお、時間については、24時間制でご記入ください。
7. お子さんやご両親の年齢は、すべて平成30年9月1日現在でご記入ください。
8. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますのでご注意ください。
9. ご記入がすみましたら、三つ折りのうえ同封の封筒に入れて平成30年10月19日（金）までに学童保育指導員に提出してください。切手を貼る必要はございません。
10. このアンケート用紙にも、封筒にも名前を書く必要はございません。
11. 記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

川越市役所 教育総務部 教育財務課　　TEL ： 049-224-5107（直通）
こども未来部 こども政策課 TEL ： 049-224-6278（直通）



（用語の定義）

この調査票における用語の定義は以下のとおり

・子　育　て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
・教　　育：家庭での教育を含めた広い意味で用いています
・放課後児童クラブ
　地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により常時留守の場合などに、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

（本市の場合）
月額利用料　平成30年度　8,000円　傷害保険掛金年額500円
世帯の所得状況等により保育料が減免される場合があります。
このほか、各保護者会でおやつ代、教材費、保護者会費を徴収しています。

お住まいの地域等についてうかがいます。

問1　お住まいの町名、お子さんが通っている学童保育室名をご記入ください。

町名　（　例　：　元町1丁目、大字新宿　）	学童保育室

放課後児童クラブを利用しているお子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問2　放課後児童クラブを現在利用しているお子さんの生年月をご記入ください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

平成 □□年 □□月生まれ　平成 □□年 □□月生まれ　平成 □□年 □□月生まれ

問3　お子さんは（きょうだい）は何人いらっしゃいますか。上記のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数 □人　　末子の生年月　平成 □□年 □□月生まれ

問4　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。利用しているお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．母親　　2．父親　　3．その他（　　）

問5　この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。（問4で「3．その他」と回答した方は回答不要です）

1．配偶者がいる　　2．配偶者はいない

問6　世帯の状況について伺います。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．保護者と子のみの世帯（2．3．以外）
2．祖父母と同居している世帯
3．同居はしていないが、祖父母が近く（市内又は近隣市町）に住んでいる

問7　利用しているお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．父母ともに　2．主に母親　3．主に父親　4．主に祖父母　5．その他（　　）

利用しているお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問8　利用しているお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）　母親　【父子家庭の場合は記入は不要です】　当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．正規雇用　　2．非正規雇用（パート・アルバイト含む）　　3．就労していない

（1）-1　具体的な状況について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2．フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である　⇒(1)-2へ
3．フルタイム以外で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4．フルタイム以外で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5．病気・障害等により就労していない　⇒(2)へ

（1）-2　（1）-1で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。　週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

1週当たり □日　うち土・日 □日　　1日当たり □□時間

（1）-3　（1）-1で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

家を出る時刻 □□時頃　　帰宅時刻 □□時頃

（2）　父親　【母子家庭の場合は記入は不要です】　当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．正規雇用　2．非正規雇用（パート・アルバイト含む）　3．就労していない

（2）-1　具体的な状況について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 2．フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である　⇒(2)-2へ 3．フルタイム以外で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 4．フルタイム以外で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 5．病気・障害等により就労していない　⇒問10へ

（2）-2　（2）-1で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。　週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

1週当たり □日　うち土・日 □日　　1日当たり □□時間

（2）-3　（2）-1で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

家を出る時刻 □□時頃　　帰宅時刻 □□時頃

問9　問8の（1）-1または（2）-1で「3.」又は「4.」（フルタイム以外で就労している）に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

（1）母親

1．フルタイム（週5日・1日8時間程度）への転換希望があり、実現できる見込みがある 2．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3．フルタイム以外の就労を続けることを希望 4．フルタイム以外の就労をやめて子育てや家事に専念したい

（2）父親

1．フルタイム（週5日・1日8時間程度）への転換希望があり、実現できる見込みがある 2．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3．フルタイム以外の就労を続けることを希望 4．フルタイム以外の就労をやめて子育てや家事に専念したい

利用しているお子さんの平日の定期的な放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況についてうかがいます。

問10　平日に定期的に利用している放課後児童クラブ（学童保育）について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。時間は、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。
※利用しているお子さんがお二人以上いる場合、より多い（長い）状況について記入してください。

（1）現在

1週当たり □日　1日当たり □□時間（□□時～□□時）

（2）希望

1週当たり □日　1日当たり □□時間（□□時～□□時）□年生まで

問10-1　平日に定期的に放課後児童クラブ（学童保育）を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．子育てをしている方が現在就労している
2．子育てをしている方が就労予定がある／求職中である
3．子育てをしている方が家族・親族などを介護している
4．子育てをしている方に病気や障害がある
5．子育てをしている方が学生である
6．その他（　　）

利用しているお子さんの土曜・休日や学校休業期間中の「定期的」な放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望についてうかがいます。

問11　利用しているお子さんは、現在、土曜日に放課後児童クラブ（学童保育）を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
※利用しているお子さんがお二人以上いる場合で、「1．利用している」お子さんが一人でもいる場合は、「1．」を回答ください。

1．利用している　⇒　問11-1へ　　2．利用していない　⇒　問12へ

問11-1　土曜日に利用している放課後児童クラブ（学童保育）について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。日曜・祝日に、定期的な放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。1ヶ月当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。時間は、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。
※利用しているお子さんがお二人以上いる場合、より多い（長い）状況について記入してください。

（1）土曜日

①現在

1月当たり □日　1日当たり □□時間（□□時～□□時）

②希望

1月当たり □日　1日当たり □□時間（□□時～□□時）□年生まで

（2）日曜・祝日

①希望

1月当たり □日　　1日当たり □□時間（ □□時～ □□時）　□年生まで

問12　**利用しているお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。また、何年生まで利用したいかをご記入ください（数字は一枠に一字）。**
※利用しているお子さんがお二人以上いる場合、より多い（長い）状況について記入してください。

（1）土曜日

1．利用する必要はない 2．ほぼ毎週利用したい 3．月に1～2回は利用したい ⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで □年生まで

（2）日曜・祝日

1．利用する必要はない 2．ほぼ毎週利用したい 3．月に1～2回は利用したい ⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで □年生まで

問12-1　**問12の（1）もしくは（2）で、「3．月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。**

1．月に数回仕事が入るため	2．平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3．親族の介護や手伝いが必要なため	4．リフレッシュのため
5．その他（　　）	

問13　**利用しているお子さんは、現在、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。**
※利用しているお子さんがお二人以上いる場合で、「1．利用している」お子さんが一人でもいる場合は、「1．」を回答ください。

1．利用している　⇒　問13-1へ	2．利用していない　⇒　問14へ

問13-1　**利用しているお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。時間は、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。**
※利用しているお子さんがお二人以上いる場合、より多い（長い）状況について記入してください。

（1）現在

1週当たり □日　　1日当たり □□時間（ □□時～ □□時）

（2）希望

1週当たり □日　　1日当たり □□時間（ □□時～ □□時）　□年生まで

問14　利用しているお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。また、何年生まで利用したいかをご記入ください（数字は一枠に一字）。
※利用しているお子さんがお二人以上いる場合、より多い（長い）状況について記入してください。

1．利用する必要はない 2．休みの期間中、ほぼ毎日利用したい　⇒ 3．休みの期間中、週に数日利用したい	利用したい時間帯□□時から　□□時まで　□年生まで

問14-1　問14で、「3．週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．週に数回仕事が入るため	2．買い物等の用事をまとめて済ませるため
3．親族の介護や手伝いが必要なため	4．リフレッシュのため
5．その他（　　）	

問15　利用しているお子さんが小学校低学年（1～3年生）の保護者の方に伺います。利用しているお子さんが小学校高学年（4～6年生）の保護者の方は、問16にお進みください。利用しているお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、放課後児童クラブ［学童保育］の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。
※利用しているお子さんがお二人以上いる場合で同じ選択肢の場合、より多い状況について記入してください。

1．自宅	週□日くらい
2．祖父母宅や友人・知人宅	週□日くらい
3．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週□日くらい
4．児童館	週□日くらい
5．放課後子ども教室　※	週□日くらい
6．放課後児童クラブ〔学童保育〕	週□日くらい⇒下校時から□□時まで
7．ファミリー・サポート・センター	週□日くらい
8．放課後等デイサービス※	週□日くらい
9．その他（公民館、公園など）	週□日くらい

※「放課後子ども教室」・・・地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらずすべての小学生が利用できます。川越市では現在実施していません。
※「放課後等デイサービス」・・・心身に障害または発達の遅れがある児童を対象に、学校終了後または休業日に、生活能力の向上に必要な訓練、社会との交流の促進などを行います。

利用しているお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問16　この1年間に、利用しているお子さんが病気やケガで普段利用している放課後児童クラブ（学童保育）が利用できなかったことはありますか。
※利用しているお子さんがお二人以上いる場合で、「1．あった」お子さんが一人でもいる場合は、「1．」を回答ください。

1．あった　⇒　問16-1へ	2．なかった　⇒　問17へ

問16-1　利用しているお子さんが病気やけがで普段利用している放課後児童クラブ（学童保育）が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。数字は一枠に一字）。
※利用しているお子さんがお二人以上いる場合で同じ選択肢の場合、より多い状況について記入してください。

1年間の対処方法	日数	
ア．父親が休んだ	□□日	⇒　問16-2へ
イ．母親が休んだ	□□日	
ウ．（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	□□日	⇒　問16-5へ
エ．病児・病後児の保育を利用した	□□日	
オ．子どもだけ（本人のみ、きょうだいのみを含む）で留守番をさせた	□□日	
カ．その他（　　）	□□日	

問16-1で「ア．」「イ．」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問16-2　その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。利用しているお子さんがお二人以上いる場合、より多い状況について記入してください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。
（病児・病後児保育事業：日額2,000円（前年度市民税非課税世帯等は無料）※利用にあたっては他に飲食物費や医療費等の別途負担がかかる場合があります）

1．できれば病児・病後児保育施設等を利用したい　⇒　□□日　⇒　問16-3へ
2．利用したいとは思わない　⇒　問16-4へ

問16-3　問16-2で「1．できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．学校等に併設した施設で子どもを保育する事業
2．小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3．地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：緊急サポート・センター等）
4．自宅に保育者が訪問して保育を行う訪問型による事業※現在未実施
5．その他（　　）

問16-4　問16-2で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2．地域の事業の質に不安がある
3．地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない
4．利用料がかかる・高い
5．利用料がわからない
6．親が仕事を休んで対応したほうがよい
7．その他（　　）

問16-1で「ウ．」から「カ．」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問16-5　その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ．」から「カ．」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。
※利用しているお子さんがお二人以上いる場合、より多い状況について記入してください。

1．できれば仕事を休んで看たい　⇒　□□　日　⇒　問17へ
2．休んで看ることは非常に難しい　⇒　問16-6へ

問16-6　問16-5で「2．休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．子どもの看護を理由に休みがとれない　2．自営業なので休めない
3．休暇日数が足りないので休めない　4．その他（　　）

利用しているお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問17　利用しているお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。
※利用しているお子さんがお二人以上いる場合で同じ選択肢の場合、より多い状況について記入してください。

利用している事業	日数（年間）
1．ファミリー・サポート・センター（地域における子育ての援助活動）	□□日
2．トワイライトステイ（児童養護施設で平日※の夜間（21時30分まで）子どもを預かる事業）	□□日
3．ショートステイ（児童養護施設で平日※に宿泊を伴って子どもを預かる事業）	□□日
4．その他（　　）	□□日
5．利用していない　⇒　問17-1へ	□□日

⇒　問18へ

※祝日及び年末年始を除く

問17で「5．利用していない」と回答した方にうかがいます。

問17-1　現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．特に利用する必要がない
2．事業について知らなかった
3．地域の事業の質に不安がある
4．地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5．利用料がかかる・高い
6．利用料がわからない
7．自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
8．事業の利用方法（手続き等）がわからない
9．定員に空きがない等の理由で断られた
10．その他（　　）

問18　利用しているお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字）。利用しているお子さんがお二人以上いる場合で同じ選択肢の場合、より多い状況について記入してください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1．利用したい		計 □□日	
	ア．私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	□□日	⇒　問18-1へ
	イ．冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	□□日	
	ウ．不定期の就労	□□日	
	エ．その他（　　）	□□日	
2．利用する必要はない ⇒　問19へ			

問18-1　問18で「1．利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問18の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．学童保育事業
2．地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
3．その他（　　）

問19　この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、利用しているお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。
※利用しているお子さんがお二人以上いる場合で同じ選択肢の場合、より多い状況について記入してください。

1年間の対処方法		日数	
1．あった	ア．（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	□□日	⇒　問19-1へ
	イ．ショートステイを利用した（児童養護施設で１週間を限度として、宿泊を伴って子どもを預かる事業）	□□日	
	ウ．子どもを同行させた	□□日	
	エ．子どもだけ（本人のみ、きょうだいのみを含む）で留守番をさせた	□□日	
	オ．その他（　　）	□□日	
2．なかった			

問19で「1．あった　ア．(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。ア．以外を選択した方は⇒問20へ

問19-1　その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

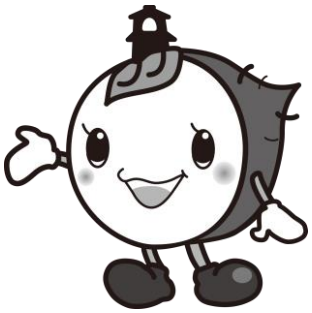
1．非常に困難　　2．どちらかというと困難　　3．特に困難ではない

問20　お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

満足度が低い				満足度が高い
1	2	3	4	5

問21　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずにお配りした封筒に再び戻し入れ、学童保育指導員にご提出ください。



川越市マスコットキャラクター　ときも

アンケート調査票（幼稚園保護者用）

お子様が通園中の幼稚園名	幼稚園

問1　お住まいの地区（当てはまる番号1つに○をつけてください）

1. 本庁管内　2. 芳野地区　3. 古谷地区　4. 南古谷地区　5. 高階地区　6. 福原地区　7. 大東地区
8. 霞ケ関地区　9. 川鶴地区　10. 霞ケ関北地区　11. 名細地区　12. 山田地区

問2　上記の幼稚園に通われているお子様の生年月をご記入ください。
（□内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字。）

平成 □□ 年 □□ 月　　平成 □□ 年 □□ 月　　平成 □□ 年 □□ 月

問3　お子様のきょうだいは何人いらっしゃいますか。上記の幼稚園に通われているお子様を含めた人数を□内に数字でご記入ください。お二人以上のお子様がいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数 □ 人　　末子の生年月 平成 □□ 年 □□ 月　生まれ

問4　世帯の状況について伺います。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 保護者と子のみの世帯（2. 3. 以外）
2. 祖父母と同居している世帯
3. 同居はしていないが、祖父母が近く（市内又は近隣市町）に住んでいる

問5　現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）について伺います。

（1）　父親【母子家庭の場合は記入不要です。（2）へ】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 就労していない

（1）－1及び（1）－2へ

問7へ

（1）－1　（1）で「1. 」～「4. 」（就労している）に○をつけた方に伺います。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は最も多いパターンについて、産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況について、お答えください。
（□内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字。土・日の就労がない場合は0を記入。）

1週当たり □ 日　うち土・日 □ 日　　1日当たり □□ 時間

（1）－2　（1）で「1. 」～「4. 」（就労している）に○をつけた方に伺います。

家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は最も多いパターンについて、産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況について、お答えください。
（□内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字。時間は24時間制でお答えください。例：08時～18時）

家を出る時間 □□ 時頃　　帰宅時間 □□ 時頃

（2）　母親【父子家庭の場合は記入不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 就労していない

（2）－1及び（2）－2へ

問7へ

（2）－1　（2）で「1．」～「4．」（就労している）に○をつけた方に伺います。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は最も多いパターンについて、産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況について、お答えください。
（□内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字。土・日の就労がない場合は0を記入。）

1週当たり□□日　うち土・日□□日　　1日当たり□□時間

（2）－2　（2）で「1．」～「4．」（就労している）に○をつけた方に伺います。

家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は最も多いパターンについて、産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況について、お答えください。
（□内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字。時間は24時間制でお答えください。例：08時、18時）

家を出る時間□□時頃　　帰宅時間□□時頃

問6　問5の（1）又は（2）で、「3．」又は「4．」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方に伺います。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

（1）　父親【母子家庭の場合は記入不要です。（2）へ】

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. フルタイムへの転換希望はない

（2）　母親【父子家庭の場合は記入不要です。】

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. フルタイムへの転換希望はない

問7　問5の（1）又は（2）で「5．」（就労していない）に○をつけた方に伺います。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号に○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。
（数字は1枠に1字。）

（1）　父親【母子家庭の場合は記入不要です。（2）へ】

1. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
　→ 希望する就労形態　ア.　フルタイム
　　イ.　パートタイム
　→　1週当たり□□日　（うち土・日の就労の希望　あり・なし）　1日当たり□□時間
2. 1年より先、一番小さい子どもが□□歳になったころに就労したい
3. 就労の希望はない

（2）　母親【父子家庭の場合は記入不要です。】

1. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
　→ 希望する就労形態　ア.　フルタイム
　　イ.　パートタイム
　→　1週当たり□□日　（うち土・日の就労の希望　あり・なし）　1日当たり□□時間
2. 1年より先、一番小さい子どもが□□歳になったころに就労したい
3. 就労の希望はない

問8　問5の（1）又は（2）で「1．」～「4．」（就労している）に○をつけた方に、現在の幼稚園における預かり保育事業（通常の教育時間終了後、延長して預かる事業。以下同じ。）の利用状況を伺います。

（1）　当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．現在、幼稚園においてほぼ毎日預かり保育事業を利用している	（1）－1へ
2．現在、幼稚園における預かり保育事業を利用していない（または時折の利用のみ※）が、他の保育事業等を利用している。	（1）－2へ
3．現在、幼稚園における預かり保育事業を利用していない（または時折の利用のみ※）かつ、他の保育事業等も利用していない。（上記1．、2．に該当しない）	（1）－3へ
※親族、知人、友人等による預かりが行われている場合は3．を選んでください。また親族等による預かりが中心で、時折（例えば週に1日程度）、預かり保育や他の保育事業を利用するような方も3．を選んでください。	

（1）－1　（1）で「1．」（ほぼ毎日利用している）に○をつけた方に伺います。

週当たりの「利用日数」、1日当たりの「利用時間」をお答えください。利用日数や利用時間が一定でない場合は最も多いパターンについてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字。1時間未満は切り上げ、朝・夕どちらかの利用の場合は他方空欄。）

1週当たり□□日　　1日当たり朝□□時間　　1日当たり夕方□□時間

（1）－2　（1）で「2．」（預かり保育は利用していないが、他の保育事業を利用している）に○をつけた方に伺います。

預かり保育事業を利用していない理由について、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、どういった保育事業等を利用されているか、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、週当たりの「利用日数」、1日当たりの「利用時間」をお答えください。利用日数や利用時間が一定でない場合は最も多いパターンについてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字。）

一時預かり事業を利用していない理由

1．教育時間終了後は、子どもを預かってもらう必要がない。
2．教育時間終了後は、子どもを預けることができる親族や知人等がいる。
3．預かり保育事業では、家庭の状況（就労時間等）に合っていない
4．預かり保育事業の利用料金が高い・負担が大きい

利用している保育事業等

1．保育所の一時預かり（私用などの理由を問わず一時的に子どもを預かる事業）
2．トワイライト・ステイ事業（保護者の帰宅が遅くなる場合などに平日の夕方から夜間に子どもを預かる事業）
3．ショート・ステイ事業（保護者の病気等の理由により宿泊を伴い子どもを預かる事業）
4．ファミリー・サポート・センター事業（提供会員による自宅等での子どもの預かりや保育施設等への送迎を行う事業）
5．ベビーシッター
6．認可外の保育施設等
7．その他（事業名等　　）

1週当たり□□日　　1日当たり□□時間

（1）－3　（1）で「3．」（預かり保育事業及び他の保育事業も利用していない）に○をつけた方に伺います。

一時預かり事業及び他の保育事業を利用していない理由について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．教育時間終了後は、子どもを預かってもらう必要がない。
2．教育時間終了後は、子どもを預けることができる親族や知人等がいる。
3．預かり保育事業及び他の保育事業で、家庭の状況（就労時間等）に合うものがない
4．預かり保育事業及び他の保育事業の利用料金が高い・負担が大きい

問9　すべての方に伺います。
平日の日中、幼稚園を利用している理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．園の教育方針・教育環境が子どもに合っている
2．園の保育時間等が家庭の保育状況（就労時間や送迎等）に合っている
3．保育所の利用を希望したが、保育認定（2号認定）の認定基準を満たしていないため
4．保育所の利用を希望し、認定基準を満たし申請したが、保育所・認定こども園（2号）に入れなかったため

問10 すべての方に伺います。
就園前の保育状況（サービス利用状況）について伺います。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保育サービス等の利用はない（主に家庭で保護者が保育していた）
2. 保育サービス等の利用はない（主に祖父母等保護者以外の方が保育していた）
3. 幼稚園での就園前保育（預かり保育含む）
4. 小規模保育所等（認可外施設含む）での定期的な預かり
5. 保育所の一時預かり（私用などの理由を問わず一時的に子どもを預かる事業）
6. ファミリー・サポート・センター事業（提供会員による自宅等での子どもの預かりや保育施設等への送迎を行う事業）
7. ベビーシッター
8. その他（事業名等　　）

問11 すべての方に伺います。
（1） 日頃、お子様を預かってもらえる親族・知人等はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる	（1）－1へ
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる	（1）－2へ
5. いずれもいない	問12へ

（1）－1　（1）で「1. 」又は「2. 」に○をつけた方に伺います。

祖父母等の親族に預かってもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族が子どもを預かることについて、特に問題はない
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他（　　）

（1）－2　（1）で「3. 」又は「4. 」に○をつけた方に伺います。

友人・知人等に預かってもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人等に子どもを預かってもらうことについて、特に問題はない
2. 友人・知人等の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人等の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他（　　）

問12 すべての方に伺います。
（1） お子様の子育てをする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある　→　（1）－1へ	2. ない　→　問13へ

（1）－1　（1）で「1. 」に○をつけた方に伺います。

気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親や家族　2. 知人や友人　3. 近所の人　4. 子育て支援施設・NPO　5. 保健所・保健センター
6. 幼稚園の先生や職員　7. 通っている園以外の施設の保育士等　8. かかりつけの医師
9. 自治体の子育て関連担当窓口　10. その他（　　）

問13 すべての方に伺います。
子育てをする上で、周囲（身近な人、行政など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。
幼稚園就園奨励費補助金の書類と併せてご提出ください。

アンケート調査票（商工会議所会員事業所様用）

はじめに記入をお願いします

基礎データ

企業名			登録業種		
就業日（曜）	月・火・水・木・金・土・日（○をつけてください。）			週休	日
就業時間	：　～　：	従業員数（パート・アルバイト含む）			名
担当部署		担当者名			
連絡先	TEL	e-mail			

貴社の従業員の方の保育状況についてうかがいます。

問1　就学前児童（0歳～5歳・6歳）のいる従業員数と就学前の子どもの人数について、□内に数字でご記入ください。

従業員数 □ 人　　子どもの人数 □ 人　（　年　月　日時点）

問2　上記の就学前子どもの人数（問1記載時点）の年齢別内訳について、□内に数字でご記入ください。問1で該当する子どもがいない場合は回答不要です。

0歳児	□ 人	1歳児	□ 人	2歳児	□ 人
3歳児	□ 人	4歳児	□ 人	5歳児以上	□ 人

問3　問2のうち、0歳～2歳のお子さんの保育状況について把握している番号すべてに○をつけてください。問1・問2で該当する子どもがいない場合は回答不要です。

1. 自宅で育児している
2. 認可保育所・認定こども園に通園している
3. 小規模保育所に通園している
4. その他の施設に通園している

問4　問2のうち、3歳～5歳・6歳のお子さんの保育状況について把握している番号すべてに○をつけてください。問1・問2で該当する子どもがいない場合は回答不要です。

1. 幼稚園に通園している
2. 認可保育所・認定こども園に通園している
3. その他の施設に通園している

問5　問2の子どものうち、平成30年度保育所等入所手続きにあたり、入所を希望したが入れなかった状況の有無についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった　⇒5-1へ　　2. なかった　　3. 不明

5-1　問5で「1. あった」と回答した方にお聞きします。その後どのような状況でしたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 待機児童として保育所等の空きを待った（自宅で子育てを行った）
2. 幼稚園に通園させた
3. 認可外保育施設に通園させた
4. その他（　　）

企業内での保育施設設置に関してうかがいます。 裏面に設問があります。

子ども・子育て支援新制度では、企業内での保育施設設置に関して認可制度や補助制度を設けています。認可保育所として設置する「事業所内保育事業」、認可外保育施設ではあるが、施設整備の補助や運営に係る費用補助がある「企業主導型保育事業」です。これらの制度についてお聞きします。

※事業所内保育事業・・・子ども・子育て支援法に定める、地域型保育事業の一つです。原則0歳児～3歳未満の児童を対象に、事業所が主体となって設置し、市区町村の認可を受ける認可施設です。従業員の児童の受入れのほか、市区町村が定める地域住民の定員（地域枠）の設定が必要です。利用希望児童は市区町村による認定を受け、利用料が市区町村によって定められます。施設に運営にあたり国が定める公定価格が支払われます。
川越市における事業所内保育施設・・H30.8現在　3施設

※企業主導型保育事業・・・企業が従業員のために設置・運営する認可外保育施設です。働き方に応じた多様で柔軟な保育サービスの提供が可能です。また、複数の企業による共同設置や共同利用が可能です。地域住民の受け入れ（地域枠）も可能です。設置にあたり施設の整備や運営に対する認可施設並の補助が受けられます。
川越市における企業主導型保育施設・・H30.8現在　3施設（開設予定含む）

問7　上記の2つの制度について知っていましたか。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

・事業所内保育事業

1．知っている（内容も）　2．聞いたことがある　3．知らない

・企業主導型保育事業

1．知っている（内容も）　2．聞いたことがある　3．知らない

問8　上記の2つの制度による施設の設置の希望についてうかがいます。それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

・事業所内保育事業

1．すでに設置（実施）している（平成　　年度開設）　2．設置について検討している　3．設置の希望はない

・企業主導型保育事業

1．すでに設置（実施）している（平成　　年度開設）　2．設置について検討している　3．設置の希望はない

問9　問8で「2. 設置について検討している。」に○をつけた方にお聞きします。設置にあたり課題になっていることは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．施設の立地（敷地・設置場所）に関すること
2．施設の整備に関すること。
3．保育士の確保に関すること。
4．運営や認可に関すること。
5．利用料や補助金に関すること。
6．その他（　　）

問10　問8で「3. 設置の希望はない。」に○をつけた方にお聞きします。今後設置を検討する要件になることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．従業員の保育ニーズの高まり。
2．本市における待機児童の増加。
3．制度に関する市による説明や相談の実施。
4．施設整備や運営費の補助金の増額。
5．保育士の確保方策の充実。
6．その他（　　）

問11　本市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い				満足度が高い
1	2	3	4	5

問12　最後に、事業所の立場から教育・保育環境の充実など、本市における子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

子ども・子育て支援に関するアンケート調査ご協力のお願い

皆様には、日頃から市政の運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、現在川越市子ども・子育て支援事業計画に基づき、各種事業に取り組んでいるところです。また、2020年度から5年間を計画期間とする次期事業計画の策定の準備を進めています。

この調査は、次期計画策定にあたり、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために、市内事業所の内、土曜日・日曜日等の休日に就業している従業員の方の中から、就学前のお子さんがいらっしゃる世帯にご協力をお願いするものです。

ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。また、回答者個人が特定されたり、個々の内容がほかに漏れたり、ほかの目的に利用されたりすることも一切ございません。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年11月

川越市長　川 合 善 明

《 ご記入に際してのお願い 》

1. 特に注意書きがある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
2. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. 回答に選択肢がある場合は、あてはまる番号を〇で囲んでください。（〇は1つ）などの説明がある場合には、その説明にしたがってください。
4. 回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を〇で囲み、（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
5. 質問によっては数字を記入していただく場合もあります。なお、時間については、24時間制でご記入ください。
6. お子さんやご両親の年齢は、すべて平成30年11月1日現在でご記入ください。
7. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますのでご注意ください。
8. ご記入後、三つ折りのうえ同封の返信用封筒に入れて、平成30年11月30日（金）までにご投函ください。切手を貼る必要はございません。
9. このアンケート用紙にも、封筒にも名前を書く必要はございません。
10. 記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

川越市役所 こども未来部 こども政策課
〒350-8601 埼玉県川越市元町１－３－１
TEL : 049-224-6278（直通）FAX : 049-223-8786
mail: kodomoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

お住まいの地域についてうかがいます。

問1　お住まいの町名をご記入ください。（例：元町1丁目、大字新宿）市外にお住まいの方は、市区町村名をご記入ください。

（　　）町　　※市外の方　（　　）市・区・町・村

就学前のお子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問2　就学前のお子様の生年月をご記入ください。（□内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字。）

平成	□□	年	□□	月	平成	□□	年	□□	月	平成	□□	年	□□	月

問3　お子様のきょうだいは何人いらっしゃいますか。上記の就学前のお子様を含めた人数を□内に数字でご記入ください。
お二人以上のお子様がいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数 □ 人　　末子の生年月　平成 □□ 年 □□ 月　生まれ

問4　世帯の状況について伺います。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1．保護者と子のみの世帯（2．3．以外）
2．祖父母と同居している世帯
3．同居はしていないが、祖父母が近く（市内又は近隣市町）に住んでいる

就学前のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問5　現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）について伺います。

（1）　母親（父子家庭の場合は記入不要です。）・父親（母子家庭の場合は記入不要です。）それぞれ当てはまる番号1つをご記入ください。

1．フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2．フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3．パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4．パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5．就労していない

母親 □　父親 □

（1）－1　（1）で「1．」～「4．」（就労している）に○をつけた方に伺います。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は最も多いパターンについて、産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況について、母親・父親それぞれお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字。）

母親	1週当たり	□	日	うち土・日	□	日	1日当たり	□□ 時間
父親	1週当たり	□	日	うち土・日	□	日	1日当たり	□□ 時間

（1）－2　（1）で「1．」～「4．」（就労している）に○をつけた方に伺います。

家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は最も多いパターンについて、産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況について、母親・父親それぞれお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は1枠に1字。時間は24時間制でお答えください。例：08時～18時）

母親	家を出る時間	□□ 時頃	帰宅時間	□□ 時頃
父親	家を出る時間	□□ 時頃	帰宅時間	□□ 時頃

問6　問5の（1）で、「3．」又は「4．」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方に伺います。フルタイムへの転換希望はありますか。母親・父親それぞれ当てはまる番号1つをご記入ください。

	母親	父親
1．フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある		
2．フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない		
3．フルタイムへの転換希望はない		

問7　問5の（1）で「5．」（就労していない）に○をつけた方に伺います。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号に○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。（数字は1枠に1字。）

（1）　母親【父子家庭の場合は記入不要です。（2）へ】

1．すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→ 希望する就労形態　ア．フルタイム
イ．パートタイム
→　1週当たり □ 日　（うち土・日の就労の希望　あり・なし）　1日当たり □□ 時間
2．1年より先、一番小さい子どもが □□ 歳になったころに就労したい
3．就労の希望はない

（2）　父親【母子家庭の場合は記入不要です。】

1．すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→ 希望する就労形態　ア．フルタイム
イ．パートタイム
→　1週当たり □ 日　（うち土・日の就労の希望　あり・なし）　1日当たり □□ 時間
2．1年より先、一番小さい子どもが □□ 歳になったころに就労したい
3．就労の希望はない

就学前のお子さんの土曜日・日曜日等の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

問8　問5の（1）で「1．」～「4．」（就労している）に○をつけた方に、現在の土曜日・日曜日・祝日における教育・保育の利用状況を伺います。当てはまる番号1つに○をつけてください。

（1）　土曜日（就労時）

1．施設へ預けている（サービスを利用している）　2．施設へ預けていない（サービスを利用していない）

（1）－1 問8の（1）で「1．施設へ預けている」に○をつけた方に伺います。利用している施設（サービス）はどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．認可保育所
2．認可保育所の一時預かり
3．認定こども園の一時預かり事業（幼稚園型）
4．事業所内保育所
5．企業主導型保育所
6．ファミリー・サポート・センター
7．認可外の保育施設
8．ベビーシッター
9．その他の施設（　　）

（2）　日曜日・祝日（就労時）

1．施設へ預けている（サービスを利用している）　2．施設へ預けていない（サービスを利用していない）

（2）－1 問8の（2）で「1．施設へ預けている」に○をつけた方に伺います。利用している施設（サービス）はどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．事業所内保育所 2．企業主導型保育所 3．ファミリー・サポート・センター 4．認可外の保育施設 5．ベビーシッター 6．その他の施設（　　）

問9　問8の（1）又は（2）で「2．預けていない。」に○をつけた方に伺います。預けていない（利用していない）理由は何ですか。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．土曜日・日曜日は、母または父が在宅しているため子どもを預かってもらう必要がない 2．土曜日・日曜日は、子どもを預けることができる親族や知人等がいる 3．家庭の状況（就労時間や施設の場所等）に合う施設がない 4．利用料が高い、負担が大きい 5．既存の施設では、保育の質や環境に不安がある 6．その他（　　）

問10　本市における土曜日・日曜日等の教育・保育の充実のため、希望することはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1．保育所等の預けられる施設を増やしてほしい 2．保育料等の利用に係る負担を軽減してほしい 3．既存の施設での土曜日・日曜日等の保育を行ってほしい 4．勤務先での保育施設を設置してほしい 5．その他（　　）

問11　本市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い	←――	――	――→	満足度が高い
1	2	3	4	5

問12　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

川越市マスコットキャラクター　ときも

子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書

【平成 31 年３月】

発行：川越市
編集：川越市　こども未来部　こども政策課
〒350-8601　埼玉県川越市元町 1-3-1
Tel：049-224-8811（代表）
市ホームページ：http://www.city.kawagoe.saitama.jp

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。